

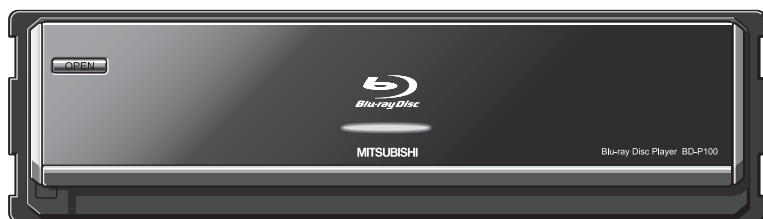
MITSUBISHI

車載用ブルーレイディスクプレーヤー

品名

BD-P100

取扱説明書



BONUS VIEW™ AVCHD™ AVCREC™

MP3 WMA AAC

ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。「取扱説明書」はお読みになった後、「保証書」「お客様相談窓口一覧表」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。

本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本取扱説明書を付けてお譲りください。

もくじ






ご使用前に	3	音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) について...	24
お客さまへ安全上のご注意	3	フォルダの構成について.....	24
取付・配線時などのご注意.....	5	仕様.....	25
使用上のご注意	7	プレイリストについて.....	25
免責事項について	7	MP3 とは.....	26
取り付けに関して	7	再生できる MP3 ファイルの規格について... 26	
本体のお手入れ	7	WMA とは.....	27
著作権について	8	再生できる WMA ファイルの規格について... 27	
ソフトウェアについて.....	9	AAC とは.....	28
商標について.....	10	再生できる AAC ファイルの規格について... 28	
本書のみかた	11	タッチ操作のしかた	29
対応フォーマットなどによる本書の表記 ... 12		～にタッチするとき.....	29
		リストから項目を探すとき.....	29
はじめに	13	操作方法	30
本機について	13	Blu-ray™ (BDMV / BDAV)	30
本体パネルについて	13	操作メニューを表示する	30
起動する	14	表示内容について	31
ディスクと SD カードを切り換える... 14		再生中の操作メニュー.....	31
ドライビングリモコンについて	15	タイトルリストについて.....	34
ディスクの取り扱いについて	16	停止中メニューについて.....	34
使用上のご注意	16	タイトル番号やチャプター番号を選ぶ	35
取り扱い上のご注意	16	停止画面からの操作.....	35
お手入れについて	16	再生方法を変更する	36
保管上のご注意	16	再生方法について.....	36
ディスク再生の環境について	17	タイトルリストを表示する	36
こんなディスクの使用はおやめください ... 17		停止画面からの操作.....	36
再生できるディスクの種類	18	数字入力でメニューを選ぶ	37
再生できないディスク	18	情報を切り換える	37
CD 規格外ディスクについて	19	切り換えができる項目について.....	37
DualDisc について	19	PIN ロックがされているとき	38
マークについて	19	視聴制限があるとき	38
ディスクの出し入れ	20	DVD (AVCHD / AVCREC / DVD-VIDEO / DVD-VR / DVD-AUDIO) ...	39
ディスクを挿入する	20	操作メニューを表示する	39
ディスクを取り出す	20	表示内容について	40
SD カードについて	21	再生中の操作メニュー.....	40
使用上のご注意	21	タイトルリストについて.....	44
SD カードの出し入れ	22	停止中メニューについて.....	44
SD カードを挿入する	22	タイトル番号やチャプター番号を選ぶ	45
SD カードを取り出す	22	停止画面からの操作.....	45
BDMV のローカルストレージ利用について ... 23			

グループ番号やトラック番号を選ぶ.....	46	静止画ファイル (JPEG)	66
停止画面からの操作.....	46	対応する画像形式について.....	66
ボーナスグループがあったとき.....	47	操作メニューを表示する.....	66
再生方法を変更する.....	47	表示内容について.....	67
再生方法について.....	48	再生中の操作メニュー.....	67
タイトルリストを表示する.....	48	ファイルリストについて.....	68
停止画面からの操作.....	48	停止中メニューについて.....	69
静止画を見る.....	49	ファイルリストを表示する.....	69
DVD-VR の場合.....	49	停止画面からの操作.....	69
DVD-AUDIO の場合.....	49	ファイルリストのメニューを表示する... 70	
数字入力でメニューを選ぶ.....	49	再生方法を変更する.....	70
情報を切り換える.....	50	再生方法について.....	70
切り換えができる項目について.....	50	セットアップを行う.....	71
PIN ロックがされているとき.....	51	セットアップ情報を初期化する.....	71
視聴制限があるとき.....	51	優先させる言語を変更する.....	71
VIDEO CD (PBC 有 / PBC 無)	52	言語コード一覧.....	72
操作メニューを表示する.....	52	視聴制限のレベルを設定する.....	73
表示内容について.....	53	視聴制限のレベルについて.....	74
再生中の操作メニュー.....	53	視聴制限のレベルを変更する.....	74
トラックリストについて.....	56	パスワードを変更する.....	75
停止中メニューについて.....	56	パスワードを消去する.....	75
トラックリストを表示する.....	57	SD カードをフォーマットする.....	75
停止画面からの操作.....	57	設定できる項目について.....	76
再生方法を変更する.....	57	1/4 ページ.....	76
再生方法について.....	57	2/4 ページ.....	77
数字入力でメニューを選ぶ.....	58	3/4 ページ.....	78
情報を切り換える.....	58	4/4 ページ.....	79
切り換えができる項目について.....	58		
音楽 CD (CD-DA / CD-TEXT)	59		
表示内容について.....	59	取り付けと接続.....	80
再生中の操作メニュー.....	59	接続のしかた.....	80
トラックリストについて.....	60	構成部品.....	80
停止中メニューについて.....	60	接続図.....	81
トラックリストを表示する.....	61	取り付けかた.....	82
停止画面からの操作.....	61	取り付け角度について.....	82
再生方法を変更する.....	61	シート下などに取り付ける場合.....	82
再生方法について.....	61	センターコンソールに取り付ける場合.....	83
音楽ファイル (MP3 / WMA / AAC).....	62		
表示内容について.....	62	その他.....	84
再生中の操作メニュー.....	62	故障かな?と思ったら.....	84
ファイルリストについて.....	63	エラーメッセージ.....	84
停止中メニューについて.....	64	用語解説.....	86
ファイルリストを表示する.....	64	保証とアフターサービス.....	88
停止画面からの操作.....	64	保証書について.....	88
ファイルリストのメニューを表示する... 65		アフターサービスについて.....	88
再生方法を変更する.....	65	仕様.....	89
再生方法について.....	65		

ご使用前に

お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示と共に、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。

- | | | |
|---|-----------|---|
|  | 警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | 注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |
|  | | このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。 |
|  | | このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。 |
|  | | この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。 |

警告



禁止

- 運転者は運転中に、画像を注視しない。前方不注意となり事故の原因となります。道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- 運転者は走行中に複雑な操作をしない。
運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。
事故、火災、感電の原因となります。
- 本機は DC12V マイナス⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車での使用はしない。火災や故障の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れない。発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- ディスク挿入口やカード挿入口に異物を入れない。
火災や感電、故障の原因となります。

警告



必ず行う

- 運転者がビデオなどの映像を見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。
ビデオなどの映像は安全のため走行中は表示されません。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な臭いがするなど異常が起こったら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



分解禁止

- 本機の分解、改造をしない。故障、火災、感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線に触れない。
落雷により感電の原因となります。

注意



禁止

- 本機の通風孔や放熱板をふさがないようにください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。



注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



必ず行う

- パネルの開閉時に、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



指に注意

- ディスク挿入口やカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- パネルの開閉時に、手や指を挟まれないようにご注意ください。
けがの原因となることがあります。

■ 取付・配線時などのご注意


警告


- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けません。交通事故やけがの原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機を取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めます。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。
- 左右や前後のスピーカー端子を共通にして接続しない。火災の原因となります。



- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。誤った穴開けをすると火災の原因となります。

**必ず行う**

- 取り付け作業前には、バッテリーのマイナス \ominus 端子を外す。ショート事故による感電やけがの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウィンカーなどの電装品が元通り、正常に動作することを確認する。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。

注意



禁止

- 本機のシャーシ上部を強く押さないでください。
本機のシャーシ上部が変形すると、ディスクの挿入や排出ができなくなります。



注意

- 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被膜が破れショートし、火災、感電の原因となることがあります。



必ず行う

- 接続時は必ずエンジンを止めキーを抜いた状態で行ってください。
- 落下などによる、強い衝撃を与えないでください。
機器の故障、けがなどの原因になることがあります。付属のネジなどでしっかりと固定してください。
- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷する場合やしっかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。
- 「取り付けと接続」(P80) で指定された通りに接続してください。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動する原因となることがあります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 他の機器と接続する場合は、各機器の取扱説明書も併せてよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本製品を廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

使用上のご注意

ご使用前に必ずよくお読みください。

免責事項について

- 火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、三菱電機は一切責任を負いません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- 取扱説明書で使用している画像やイラストは開発中のものもしくは説明用に作成したものです。実際のものとは異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に添付の保証書は当該製品をバス、タクシー、トラックなどの車両へ使用した場合、適用対象にはなりません。
- 操作するために、エンジンをかけたまま車庫などの周囲を囲まれた換気が悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になる恐れがあります。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができない恐れがあります。必ずエンジンをかけた状態で使用してください。

取り付けに関して

- 取り付けに際しては、「お客さまへ安全上のご注意」(P3)、「取り付けと接続」(P80)をよくお読みの上作業してください。

本体のお手入れ

- 本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れがひどいときは中性洗剤をうすめた水にやわらかい布を浸し固くしぼってからご使用ください。ベンジンやシンナー、化学ぞうきんは使用しないでください。表面が変質します。

著作権について

- 私的使用以外の目的でディスクを無断で複製や放送、公開演奏やレンタルする行為は法律により禁じられています。
 - 本製品は、AVC Patent Portfolio License および VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC 規格に準拠する動画および VC-1 規格に準拠する動画を記録する場合。
 - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録された AVC 規格に準拠する動画および VC-1 規格に準拠する動画を再生する場合。
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC 規格に準拠する動画および VC-1 規格に準拠する動画を再生する場合。
- 詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

- この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。(2012年2月1日以降生産分から適用)
- Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。
- この製品は Verance Corporation(ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第 7,369,677 号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。
- Cinavia は Verance Corporation の商標です。Copyright 2004-2010 Verance Corporation.
すべての権利は Verance が保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

■ ソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されており、それぞれに当社または第三者の著作権が存在します。

また、本製品には、以下のオープンソースのソフトウェアが搭載されています。

- GNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0(以下、GPL)に基づき当社に利用許諾されるソフトウェア
- GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1(以下、LGPL)に基づき当社に利用許諾されるソフトウェア
- 第三者の著作権が存在し、フリーソフトウェアとして配布されるソフトウェア

これらに基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示される契約詳細を参照ください。

<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0-standalone.html>

<http://www.gnu.org/licenses/lgpl-2.1-standalone.html>

<http://www.freetype.org/FTL.TXT>

これらのうち、GPL および LGPL の条件により利用許諾されるソフトウェアは、ソースコードの入手、再配布の権利があります。

但し、これらは単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。組み込まれた GPL および LGPL のオープンソースのソースコードの複製物は配布に必要な費用をご負担いただくことで入手いただけます。

複製物を入手するためには、付属のがきにてお問い合わせください。

なお、オープンソースのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

当社または第三者が著作権を持つソフトウェアについては、ソースコードの配布対象ではありません。

ソフトウェアリスト

kernel2.6.16.29	bash-3.0-31	binutils sh4eb-2.16.91.0.2	boot_loader sh-ipl+g 1.00
busybox-1.00	FreeType2 2.2.1	gcc sh4eb-3.4.5	coreutils-6.9
directfb 1.0.0-rc1	dosfstools-2.10-3	glibc-2.3.5	initscripts-8.11.1-1
kxml 1.21	libgcc_s-3.4.5	libiconv-1.11	libstdc++-3.4.5-10
libtermcap-2.0.8	MAKEDEV-1.1.0	module-init-tools-3.1.0	mtd-utils-20050619
v2lin 0.1			

■ 商標について

- 製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



“Blu-ray Disc™” および “Blu-ray™”、“Blu-ray Disc™” ロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。



DTS とそのシンボルマークは、DTS,Inc. の登録商標です。
DTS2.0+Digital Out は、DTS,Inc. の商標です。
Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending.
DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks & DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc. Product includes software.
© DTS, Inc. All Rights Reserved.



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「DOLBY」、「ドルビー」およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



SDHC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。



HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI ライセンシング LLC の商標または登録商標です。



Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。



“AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。



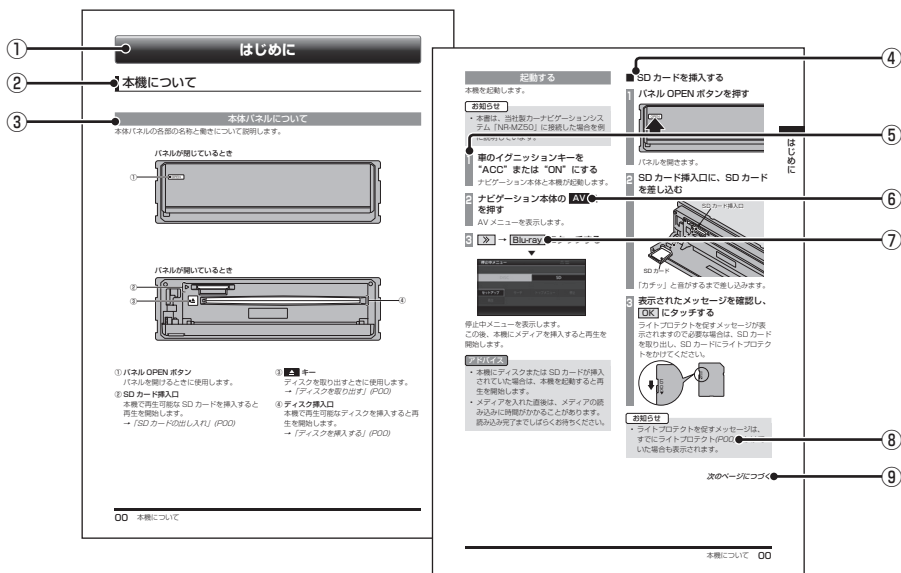
“AVCREC™” および “AVCREC™” ロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。



“BONUSVIEW™” および “BONUSVIEW™” ロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。

本書のみかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。



※このページは「本書のみかた」を説明するためのものです。
実際のページ、説明内容とは異なります。

① 章見出し

各章の先頭に記載しています。
また、右端のインデックスでも確認することができます。

② 大見出し

章分類の中で主な操作や機能を分類しています。

③ 中見出し

大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。

④ 小見出し

中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。

⑤ 操作手順

操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。

⑥ **●●●●** キーまたは [○○○○] キー

パネルでの操作キーを示します。

⑦ **○●●○** または [○●●○]

画面上に表示されるタッチスイッチを示します。

⑧ (P000)









参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。

⑨ 次のページにつづく

操作の説明に続きがある場合に記載しています。

対応フォーマットなどによる本書の表記

本書では、各フォーマットで対応している機能を区別するために以下のように表記しています。

掲載頁	マーク	表記	対応メディア	説明
Blu-ray™ (→ P30)		BDMV	BD-VIDEO	市販されている映画などが記録された Blu-ray Disc™
		BD-RE	BD-R, BD-RE	Blu-ray™ レコーダーなどで記録された Blu-ray Disc™
DVD (→ P39)		AVCREC	DVD-R/RW、 DVD+R/RW など	デジタルハイビジョンの画質で記録された DVD ディスク
		AVCHD	DVD-R/RW、 DVD+R/RW など	HD デジタルビデオカメラで記録された DVD ディスク ※ 当社製ブルーレイディスクレコーダー「DVR-BZ450/350/250」などで 8cm DVD から 12cm DVD にダビングしたものをご使用ください。
		DVD-VIDEO	DVD-VIDEO	ビデオモードで記録された DVD ディスク
		DVD-AUDIO	DVD-AUDIO	音楽データが記録された DVD ディスク
		DVD-VR	録画用の DVD-R/RW、 DVD+R/RW など	VR モードで記録された DVD ディスク
VIDEO CD (→ P52)		VIDEO CD (PBC 無)	VIDEO CD (PBC 無)	動画が記録された CD (プレイバックコントロール無)
		VIDEO CD (PBC 有)	VIDEO CD (PBC 有)	動画が記録された CD (プレイバックコントロール有)
音楽 CD (→ P59)		音楽 CD	CD-DA/CD-TEXT	CD-DA/CD-TEXT 形式で記録された CD(音楽 CD)
音楽 ファイル (→ 62)		音楽ファイル	CD-R/RW、 DVD-R/RW、 DVD+R/RW	音楽ファイル (MP3/WMA/AAC 形式) が記録されたディスク
		音楽ファイル	SD カード	音楽ファイル (MP3/WMA/AAC 形式) が記録された SD カード
静止画 ファイル (→ P66)		静止画ファイル	CD-R/RW、 DVD-R/RW、 DVD+R/RW	JPEG 画像が記録されたディスク
		静止画ファイル	SD カード	JPEG 画像が記録された SD カード

はじめに

本機について

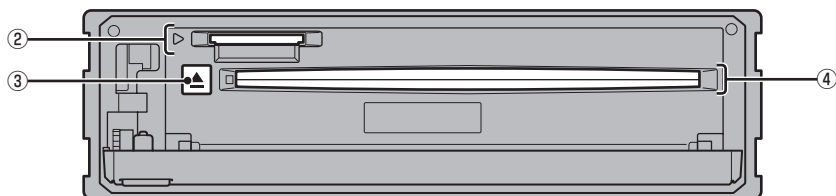
本体パネルについて

本体パネルの各部の名称と働きについて説明します。

パネルが開いているとき



パネルが開いているとき



① **パネル OPEN ボタン**

パネルを開けるときに使用します。

② **SD カード挿入口**

本機で再生可能な SD カードを挿入すると再生を開始します。

→ 「SD カードの出し入れ」 (P22)

③ **▲ キー**

ディスクを取り出すときに使用します。

→ 「ディスクを取り出す」 (P20)

④ **ディスク挿入口**

本機で再生可能なディスクを挿入すると再生を開始します。

→ 「ディスクを挿入する」 (P20)

起動する

本機を起動します。

お知らせ

- 本書は、当社製カーナビゲーションシステム「NR-MZ50」に接続した場合を例に説明しています。

1 車のイグニッションキーを“ACC”または“ON”にする
ナビゲーション本体と本機が起動します。

2 ナビゲーション本体の **AV** キーを押す
AV メニューを表示します。

3 **▶▶** → **Blu-ray** にタッチする



停止中メニューを表示します。
この後、本機にメディアを挿入すると再生を開始します。

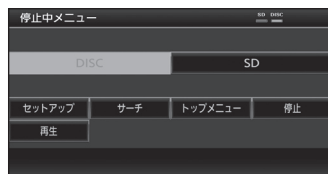
アドバイス

- 本機にディスクまたは SD カードが挿入されていた場合は、本機を起動すると再生を開始します。
- メディアを入れた直後は、メディアの読み込みに時間がかかることがあります。読み込み完了までしばらくお待ちください。

■ ディスクと SD カードを切り換える
挿入したディスクまたは SD カードの切り換えを行います。

1 画面にタッチする

2 **再生** → **■** にタッチする



停止中メニューを表示します。

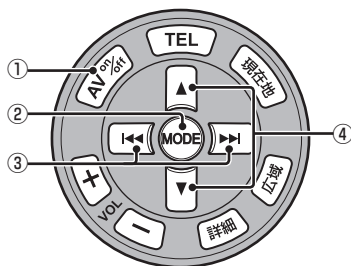
3 **DISC** または **SD** にタッチする



本機にディスクまたは SD カードが挿入されていた場合は、切り換えたメディアを再生します。

ドライビングリモコンについて

本機は、別売のドライビングリモコン (RE-MZ50) での操作に対応しています。
ドライビングリモコンの各部の名称と働きについて説明します。



① AV on/off キー

オーディオ機能の ON/OFF が行えます。

② MODE キー

[MODE] キーを押すたびに、ナビゲーション本体のオーディオソースを切り換えることができます。

本機を使用するときは、Blu-ray™ に切り換えてください。

③ ◀▶ キー

CD などのトラックを選ぶことができます。また、Blu-ray™ や DVD などのチャプターを切り換えることができます。押し続けるとトラックまたはチャプターの早送りや早戻しが行えます。

④ ▲▼ キー

オーディオのアルバムやフォルダを選択することができます。また、Blu-ray™ や DVD のタイトルを選択することができます。

お知らせ

- その他のキーについては、接続しているナビゲーション本体の取扱説明書をご覧ください。

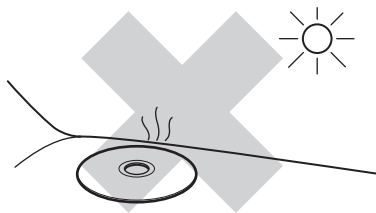
ディスクの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについてお守りいただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。

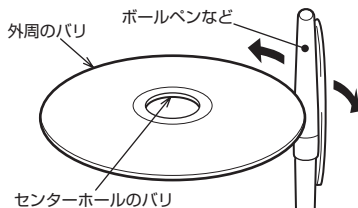
使用上のご注意

■ 取り扱い上のご注意

- ディスクの信号面に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。ディスクを持つときは、信号面を触らないように、両側を挟むように持つか中央の穴と端を挟んで持つようにしてください。
- ディスクのレーベル面や記録面にシール・シート・テープなどを貼らないでください。また、傷を付けたりしないでください。
- すでにディスクが挿入された状態で他のディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの傷や故障の原因となります。
- 真夏の炎天下に閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



- 新しいディスクを使用するときは、ディスクのセンターホールや外周部にバリが残っていないことを確認してください。バリが残っている場合には、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。バリが残っているままご使用になると、ディスクが挿入できない場合や音とびの原因となります。



- 書き込み用ディスクは通常の読み出し専用ディスク（音楽 CD など）に比べ高温多湿環境に弱く、一部のディスクは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷が付くと再生できない場合があります。
- 一部の書き込み用ディスクは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
- レコーダーで記録した書き込み用ディスクは、その特性・傷・汚れなどにより再生できない場合があります。
- ご使用になる書き込み用ディスクは、ファイナライズ処理されたものに限りませう。

■ お手入れについて

- ディスクの信号面は定期的にクリーニングしてください。クリーニングする場合はやわらかい布で回転せずに内側から外側へ軽く拭いてください。
- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。また、静電防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ピックアップ清掃用のレンズクリーナーは機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

■ 保管上のご注意

- 使用しないときは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 長時間使用しない場合は、必ず本機から取り出してください。

■ ディスク再生の環境について

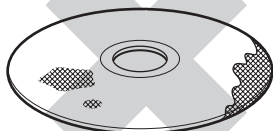
真冬の車内など極度の低温状態でヒーターを入れてすぐご使用になると、ディスクや内部の光学部分に露（水滴）が付き正常に動作しない場合があります。

このような場合は、ディスクを取り出してしばらくお待ちになってからご使用ください。

■ こんなディスクの使用はおやめください

次のようなディスクを使うと、本体内部にディスクが貼り付いて本体自体の故障の原因となり、お客さまの大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

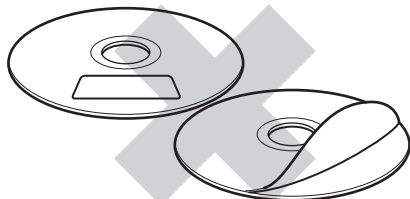
- ディスクに付着物が付いているものや、シールをはがした後にのりが付着しているディスクはラベル面をきれいに拭き取ってからご使用ください。



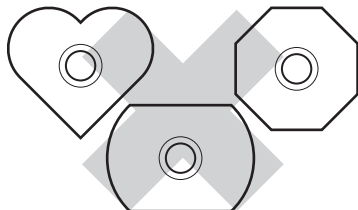
- レンタルしたディスクなどでシールがめくれているものは使用しないでください。



- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの、またはラベルのはがれかかったディスクは使用しないでください。故障の原因となります。



- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。



- New Maxi シングル CD (12cm の大きさで外周に透明な部分があるシングル CD) は、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。
- 故障の原因となりますので、8cm CD を挿入しないでください。また、アダプタも使用しないでください。

再生できるディスクの種類

以下のマークはディスクのレーベル面やパッケージ、ジャケットなどに記載されています。

種類	サイズ	備考
Blu-ray™ (BD-VIDEO)	12cm 片面 (1 層 /2 層)	<ul style="list-style-type: none"> • BDMV 形式で記録されたもの • リージョンコードは「A」を含むもの • Blu-ray Disc™ Profile 1.1 に対応 • NTSC 方式で記録されたもの
BD-R	12cm 片面 (1 層 /2 層)	<ul style="list-style-type: none"> • 片面 2 層の BD-R DL を含む • BD-R-LTH (1 層) を含む • NTSC 方式で記録されたもの
BD-RE	12cm 片面 (1 層 /2 層)	<ul style="list-style-type: none"> • 片面 2 層の BD-RE DL を含む • NTSC 方式で記録されたもの
DVD-VIDEO	12cm 片面 (1 層 /2 層) 12cm 両面 (1 層 /2 層)	<ul style="list-style-type: none"> • リージョン番号に「2」を含むもの。または、「ALL」 • NTSC 方式で記録されたもの
DVD-R DVD+R	12cm 片面 (1 層 /2 層) 12cm 両面 (1 層 /2 層)	<ul style="list-style-type: none"> • CPRM/2 層ディスクを含む • DVD VIDEO/DVD-VR フォーマット規格で記録されたディスク (NTSC 方式で記録されたもの) • デジタルハイビジョンの画質 (AVCREC 形式) で記録されたディスク • HD デジタルカメラ (AVCHD 形式) で記録されたディスク • MP3/WMA/AAC ファイルが記録されたディスク • JPEG 形式の画像データが記録されたディスク
DVD-RW DVD+RW	12cm 片面 (1 層) 12cm 両面 (1 層)	<ul style="list-style-type: none"> • MP3/WMA/AAC ファイルが記録されたディスク • JPEG 形式の画像データが記録されたディスク
DVD-AUDIO	12cm 片面 (1 層 /2 層) 12cm 両面 (1 層 /2 層)	<ul style="list-style-type: none"> • NTSC 方式で記録されたもの
VIDEO CD	12cm 片面 (1 層)	<ul style="list-style-type: none"> • NTSC 方式で記録されたもの
音楽 CD (CD-DA/CD-TEXT)	12cm 片面 (1 層)	—
CD-R/RW	12cm 片面 (1 層)	<ul style="list-style-type: none"> • CD-DA/CD-TEXT 形式で記録されたディスク • MP3/WMA/AAC ファイルが記録されたディスク • JPEG 形式の画像データが記録されたディスク

再生できないディスク


- 「再生できるディスクの種類」に記載のないディスクの再生は保証いたしかねます。
- PAL 方式で記録されたディスクは再生できません。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。
- レコーダーや PC (パソコン) によって正しいフォーマットで記録したディスクでも、アプリケーションソフトの設定や環境もしくはディスクの特性や傷、汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機で再生できない場合があります。
- ディスクによっては、一部機能が使用できない場合や再生できない場合があります。
- ヒビの入ったディスクや反ったディスクは使用しないでください。

注意

- Blu-ray™ または DVD ビデオによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- CD-DA と DTS CD (5.1 ch Music Disc) の混在ディスクは、再生できません。

■ CD 規格外ディスクについて

本機では音楽 CD をお楽しみいただけますが、CD の規格について以下の点にご注意ください。

- ディスクレーベル面に  の入ったものなどの JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD 規格外ディスクを使用された場合には再生の保証をいたしかねます。また再生できた場合であっても音質の保証はいたしかねます。
- CD 規格外ディスクを再生した場合、次の症状が発生することがあります。
 - 再生時に雑音が混入する。
 - 音飛びする。
 - ディスクを認識しない。
 - 1 曲目を再生しない。
 - 頭出しの時間が通常より長い。
 - 曲の途中から再生する。
 - 部分的に再生できない箇所がある。
 - 再生の途中でフリーズする。
 - 誤表示する。

■ DualDisc について






DualDisc は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオ、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオが収録されています。

注意

- DualDisc を挿入時や取り出し時に再生面の反対側の面に傷がつく恐れがありますのでご注意ください。
- DualDisc の仕様や規格などの詳細は、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

■ マークについて

Blu-ray Disc™ または DVD ビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または言語のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声言語の数
	字幕言語の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率) の種別
	Blu-ray™ に使用されている再生可能な地域を限定するコード。 本機では再生可能なリージョンコード (地域番号) は、「A」を含んだものです。
	DVD ビデオに使用されている再生可能な地域を限定する番号。 本機で再生可能なリージョン番号 (地域番号) は、「2」を含んだもの、または「ALL」です。
NTSC	日本で対応している映像方式です。この方式以外は再生できません。

ディスクの出し入れ

本機にディスクを挿入する方法や取り出す方法を説明します。

注意

- ディスク交換は、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してから行ってください。
- ディスク挿入口に手や指、異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- パネル上に物を置かないでください。
- パネル開閉時に手や指をはさみ込まないように注意してください。

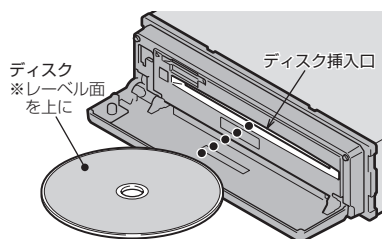
■ ディスクを挿入する

1 パネル OPEN ボタンを押す



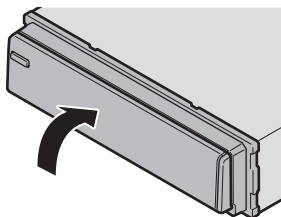
パネルを開きます。

2 ディスク挿入口に、レーベル面を上にしてディスクを差し込む



ある程度差し込むと自動的に引き込まれます。

3 パネルを閉じる

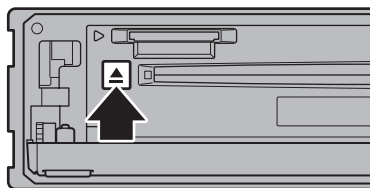


■ ディスクを取り出す

1 パネル OPEN ボタンを押す

パネルを開きます。

2 ▲ キーを押す



本機からディスクが排出されますので、ディスクを抜き取ってください。

3 パネルを閉じる

お知らせ

- ディスクが排出された状態でしばらく放置すると自動的にディスクを引き込みます。再度取り出す場合は、もう一度 [▲] キーを押してください。
- ディスクが排出されるまで時間がかかる場合があります。

ディスクを強制的に取り出す

通常は、「ディスクを取り出す」の方法で挿入されているディスクを取り出すことができますが、万が一ディスクローディングが失敗して、再生情報画面が表示できなかった場合は、次の方法でディスクを強制的に取り出すことができます。

1 車のイグニッションキーを“OFF”にする

2 ▲ キーを押す

本機からディスクが強制的に排出されます。

SD カードについて

SD カードの取り扱いについてお守りいただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。

使用上のご注意

警告

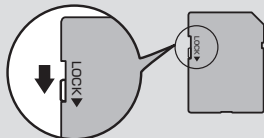


必ず行う

- 事故防止のため、SD カードは乳幼児の手の届かないところに保管する。
万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

注意

- データ破損の恐れがあるためファイルのバックアップおよび SD カードのライトプロテクトをお勧めします。



- SD カードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証は致しかねます。
- SD カードの端子に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。SD カードを持つときは、端子を触らずに持つようにしてください。
- SD カードに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでに SD カードが挿入された状態で他の SD カードを無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- SD カード以外のものを挿入しないでください。SD カード以外のものを挿入すると、破損もしくは取り出せなくなります。
- 本機から取り出したときは、直射日光の当たらない場所に保管してください。

お知らせ

- SD カードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- SD カードは FAT16、SDHC カードは FAT32 のファイルシステムを使用してください。
- SD カードの対応容量は、最大 32GB (SDHC 規格対応) です。
- SD カードの推奨クラスは、Class4 以上です。
- 音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) や JPEG 画像が記録された SD カードを本機に挿入した状態で操作してください。
- SD-Video および SD-Audio は、再生できません。
- 本機は、カードリッジを装着することで「miniSD カード」や「microSD カード」を使用することができますが、本機にカードリッジのみが挿入された状態で「miniSD カード」または「microSD カード」を挿入すると正しく認識できません。必ずカードリッジに装着した状態で本機に挿入してご使用ください。

SD カードの出し入れ

本機に SD カードを挿入する方法や取り出す方法を説明します。

注意

- SD カードの抜き差しは、駐停車禁止外の安全な場所に停車してから行ってください。
- ディスクまたは SD カード再生中に SD カードを取り出さないでください。記録されたデータの消失または破損の恐れがあります。
- SD カード挿入口に異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- パネル上に物を置かないでください。
- パネル開閉時に手や指をはさみ込まないように注意してください。

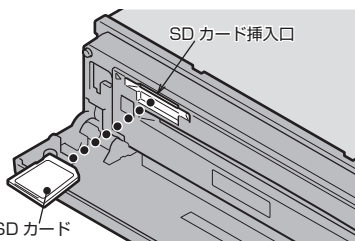
SD カードを挿入する

1 パネル OPEN ボタンを押す



パネルを開きます。

2 SD カード挿入口に、SD カードを差し込む

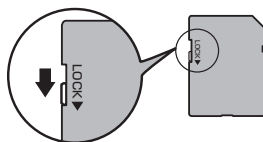


「カチッ」と音がするまで差し込みます。

3 表示されたメッセージを確認し、

OK にタッチする

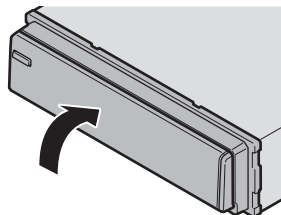
ライトプロテクトを促すメッセージが表示されますので必要な場合は、SD カードを取り出し、SD カードにライトプロテクトをかけてください。



お知らせ

- ライトプロテクトを促すメッセージは、すでにライトプロテクトをかけていた場合も表示されます。

4 パネルを閉じる

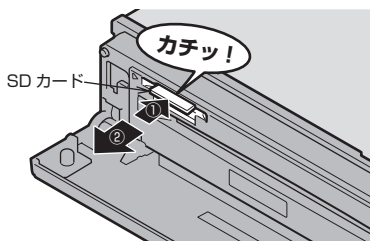


SD カードを取り出す

1 パネル OPEN ボタンを押す

パネルを開きます。

2 SD カードを「カチッ」と音がするまで押す

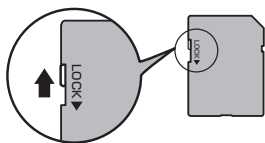


SD カードが飛び出し、抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

3 パネルを閉じる

BDMV のローカルストレージ利用 について

- BDMV によっては、他のメディア（ローカルストレージ）に保存したデータを利用しながら再生する場合があります。本機では、SD カードをローカルストレージとして使用することができます。
- ローカルストレージを利用する BDMV を再生すると、SD カード内に「BUDA」フォルダが自動生成されます。
- SD スピードクラスは Class2 以上で、空き容量が 256MB 以上ある SD カードをお使いください。
- SD カードが挿入されていない場合、一部機能が利用できない場合があります。
- SD カードのライトプロテクトは解除しておいてください。



- SD カードに記録されたローカルストレージのコンテンツデータが不要になった場合は、「SD カードをフォーマットする」(P75) によって消去することができます。

注意

- ローカルストレージで使用する SD カードは音楽ファイルおよび静止画ファイル再生用とは別の SD カードをご使用ください。
- この製品は、Apple ロスレス・エンコーダーには対応していません。

音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) について

本機では CD-ROM や CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、SD カードに記録された MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルを再生することができます。

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルをディスクに書き込む前に以下の内容をよくお読みください。

また、お手持ちの CD-R/RW や DVD-R/RW、DVD+R/RW のドライブやライティングソフトの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。

MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイル内にタイトル情報などのデータが記録されている場合は、ディスプレイに表示できます。

注意

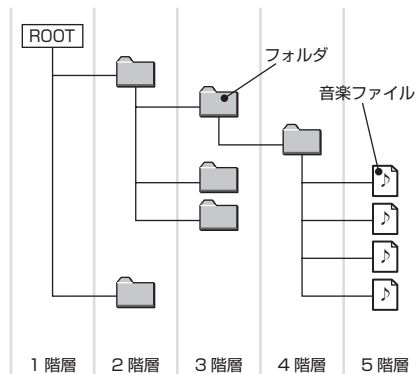
- 音楽 CD から書き込んだ (コピーした) ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- MP3/WMA/AAC 形式以外のファイルに拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」を付けしないでください。そのようなファイルが書き込まれたディスクを再生すると誤認識して再生する可能性がある為、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながる恐れがあります。

アドバイス

- ディスク書き込みに使用したレコーダーやレコーディングソフトの状態によっては正しく再生できない場合があります。その場合はご使用になった機器・ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」を付けてからディスクに書き込んでください。
- 2GB を超えるサイズのファイルは再生することができません。
- MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルが混在したディスクも再生することができます。

フォルダの構成について

フォルダは 9 階層まで認識することができます。ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック (MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイル) といった階層を作成して曲を管理することができます。



■ 仕様

名称	内容
最大階層数	9 階層 (Root を 1 階層目とした場合)
最大フォルダ数	255 フォルダ (Root を含む)
最大ファイル数 ^{*1}	2000 ファイル (メディア内合計数。MP3、WMA、AAC ファイル以外は含まず)
DVD/CD の対応フォーマット	<ul style="list-style-type: none"> ISO9960(Level1、Level2)、Joliet、Romeo UDF1.02(UDF-Bridge)、UDF1.5、UDF2.01、UDF2.5 マルチセッション対応 (最後のセッションのみ有効)
SD カードの対応フォーマット	<ul style="list-style-type: none"> SD カードの FAT16、SDHC カードの FAT32 のみ 1 パーティションのみ SD カードの対応容量は、最大 32GB(SDHC 規格対応) です。 SD カードの推奨クラスは、Class4 以上です。

*1 MP3/WMA/AAC ファイル以外は含まず。ただし、同じフォルダに多数の楽曲を格納している場合は最大曲数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダに分けて格納してください。

お知らせ

- 本機で表示されるフォルダおよび音楽ファイルの順番は PC で表示される順番と異なる場合があります。

■ プレイリストについて

本機では、音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) の再生順序を記述したプレイリストに対応しています。

- 対応拡張子は、「.m3u」「.pla」「.plst」「.pls」「.asx」「.wpl」「.b4s」「.xspf」です。
- 対応文字コードは、「ASCII」「shift-jis」です。「.m3u」以外は、「UTF8」にも対応しています。
- 1 つのメディア内でプレイリストファイルは 9 個まで認識することができます。
- プレイリストファイル内で記述可能なファイルの総数は 2000 まで対応しています。

お知らせ

- 異なるフォルダに同一ファイル名の別ファイルが記録されている場合、そのファイルについてはプレイリストで再生できない (同一ファイル名の別ファイルを再生する) 場合があります。
- 本機以外のプレーヤーで再生できたプレイリストでも、本機で再生できない (記述した音楽ファイルを認識しない) 場合があります。
- 静止画ファイルの再生には対応していません。
- SD カードに記録されているプレイリストでディスクの音楽ファイルを再生することはできません。また、その逆も再生できません。

MP3 とは

MP3 とは「MPEG-1 Audio Layer 3」の略称。MPEG とは「Motion Picture Experts Group」の略称でビデオ CD などに採用されている映像圧縮規格です。MP3 は MPEG の音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の 1 つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を処理することにより、高音質で小さなデータ容量のファイルを作ることができます。音楽 CD の音質をほとんど損なうことなく約 1/10 のデータ容量に圧縮することができる為、約 10 枚分の音楽 CD を 1 枚の CD-R/RW へ書き込むことが可能になります。

■ 再生できる MP3 ファイルの規格について

再生できる MP3 ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目		内容
規格		MPEG-1 AUDIO LAYER3、MPEG-2 AUDIO LAYER3、MPEG-2.5 AUDIO LAYER3
サンプリング 周波数 [kHz]	MPEG-1	32/44.1/48
	MPEG-2	16/22.05/24
	MPEG-2.5	8/11.025/12
ビットレート [kbps]	MPEG-1	32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320
	MPEG-2	8/16/24/32/40/48/56/64/80/96/112/128/144/160
	MPEG-2.5	8/16/24/32/40/48/56/64/80/96/112/128/144/160
VBR(可変ビットレート)		対応
チャンネルモード		ステレオ / ジョイントステレオ / デュアルチャンネル / モノラル
拡張子		mp3
対応タグ情報		ID3 タグ Ver.1.0、Ver.1.1、Ver.2.2、Ver.2.3、Ver.2.4 (ISO-8859-1 ^{*1} 、UTF-16(Unicode)) タイトル、アーティスト名、アルバム名 ※ 1 日本語表示はできません。

注意

- 上記規格以外で書き込まれた MP3 ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

WMA とは

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。

※ Microsoft、Windows Media、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

注意

- WMA は著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、本オーディオシステムでは著作権で保護された WMA ファイルを再生することはできません。
- 「Pro」「Lossless」「Voice」には対応しておりません。

再生できる WMA ファイルの規格について

再生できる WMA ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	Microsoft Windows Media Audio Standard L3 Profile
サンプリング周波数 [kHz]	22.05 ~ 48
ビットレート [kbps]	16 ~ 192
VBR(可変ビットレート)	対応
チャンネルモード	ステレオ / モノラル
拡張子	wma
対応タグ情報	WMA タグ タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル

注意

- 上記規格以外で書き込まれた WMA ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

AAC とは

AAC とは Advanced Audio Coding の略称で、映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。MP3 よりも約 1.4 倍圧縮効率がよく、音質はほぼ同じです。

注意

- AAC は著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、本オーディオシステムでは著作権で保護された AAC ファイルを再生することはできません。

■ 再生できる AAC ファイルの規格について

再生できる AAC ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	• MPEG4 File Format 規格 ISO-14496-12 (ISO base media file format) に準拠した AAC ファイル • ISO/IEC 13818-7:2006 • ISO/IEC 14496-3:2005
サポートプロファイル	AAC-LC Profile
入力 Format	ADIF/ADTS/RawData Stream
ヘッダ構造	Apple 社の iTunes で作成した m4a ファイルをサポートしています。
サンプリング周波数 [kHz]	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48
ビットレート [kbps]	8 ~ 576
VBR(可変ビットレート)	対応
チャンネルモード	ステレオ / モノラル
拡張子	m4a ※ 拡張子の「aac」はサポートしておりません。
対応タグ情報	AAC タグまたは ID3 タグ タイトル、アーティスト名、アルバム名

注意

- 上記規格以外で書き込まれた AAC ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

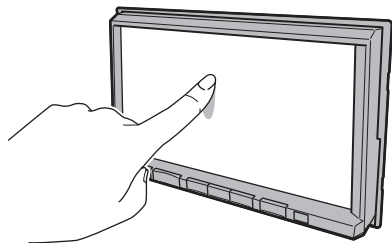
※ Apple、iTunes は、米国および他国の Apple Inc. の登録商標です。

タッチ操作のしかた

本機では、本機と接続しているディスプレイに直接タッチして操作します。

～にタッチするとき

画面にタッチして“決定”する操作について、本書では「～にタッチする」と記載しています。



また、タッチして実行するメニューは「タッチスイッチ」と記載しています。

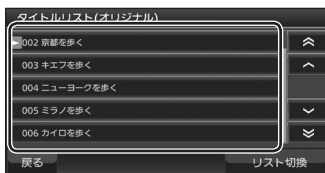
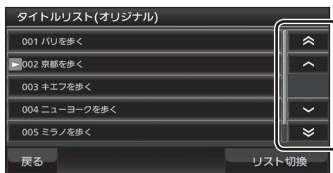
お知らせ

- ディスプレイの詳細については、接続しているディスプレイ本体の取扱説明書をご覧ください。

リストから項目を探るとき

▼, ▲ にタッチすると1つずつリストを送ることができます。

▽, △ にタッチすると1ページごとに表示を送ることができます。



探している項目が表示されたら直接その項目にタッチします。

操作方法


Blu-ray™ (BDMV / BDAV)

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P20)
ここでは、「BDMV」または「BDAV」が再生された状態から説明します。

注意

- 映像をご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- ディスクによっては再生が始まるまで時間がかかる場合があります。
- ディスクによってはメニューがない場合や場面によって表示できない場合があります。また、ディスク側の規制から早送りやチャプタースキップなどの操作ができない場合があります。そのようなときは、⓪ マークを表示します。
- 7.1chの音声出力の場合でも再生できますが、当社製のモニターまたはナビゲーションなどの接続機器に接続した場合は、ステレオ2chで出力します。また、DOLBY DIGITALやMPEG2オーディオなどの多チャンネル方式で記録した音声もステレオ2chで出力(ダウンミックス)します。
- BDMVによっては続き再生(レジューム再生)ができない場合があります。その場合は、「セットアップ」(P71)の3/4ページ[BD-J 簡易再生]を「オン」にすることで続き再生が可能となります。→「BD-J 簡易再生」(P78)
但し、ポップアップメニュー表示などの一部操作ができなくなります。また、BDMVによっては本機能をオンにしても簡易続き再生ができない場合があります。
- 簡易続き再生中は  (簡易再生中マーク)を表示します。

お知らせ

- ディスクによっては録音レベルが異なるため、他のメディアからBlu-ray™に切り換えると、音量に差が感じられることがあります。

BDMV BDAV

操作メニューを表示する

Blu-ray™を操作するためのメニューを表示します。

1 再生中、画面にタッチする



操作メニューを表示します。

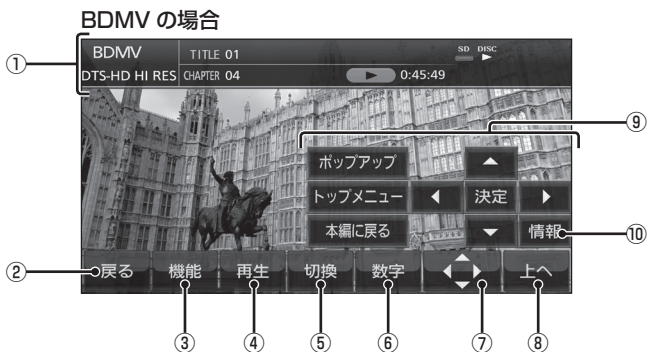
アドバイス

- 各メニューの動作内容について詳しくは「表示内容について」(P31)をご覧ください。

BDMV BDAV

■ 再生中の操作メニュー

再生中、画面にタッチしたときに表示する操作メニューについて説明します。



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名および音源、タイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間などを表示します。

状態アイコン

- : 再生中
- : 一時停止中
- : 早戻し中
- : 早送り中
- : スロー戻し中
- : スロー再生中
- : MENU 表示中

② 戻る

操作メニューを消し、映像だけの状態に戻ります。

③ 機能

[サーチ](P35) や [数字入力](P37) が選べるメニューを表示します。

④ 再生 (P33)

他のメニュー表示中にタッチすると、早送り / 早戻しやスロー再生などが行える再生操作パネルを表示します。
(再生操作パネル表示中は何も起こりません。)

⑤ 切換 (P37)

アングルや言語などを切り換えるときに使用します。

⑥ 数字 (P33)

ゲームなどの数字入力やカラーキー入力が必要なコンテンツで使用します。
(数字操作パネル表示中は何も起こりません。)

⑦ メニュー操作パネル表示スイッチ

他のメニュー表示中にタッチすると、メニュー操作パネル (P33) を表示します。
(メニュー操作パネル表示中は何も起こりません。)

⑧ 上へ / 下へ

操作メニューを上または下に移動します。

⑨ メニュー操作パネル (P33)

ディスクに収録されているトップメニューやポップアップメニューなどの操作が行えます。

⑩ 情報

ソースプレートの表示をオン / オフすることができます。

BD-REPLAY の場合



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名および音源、タイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間、再生方法アイコンなどを表示します。

状態アイコン

- : 再生中
- : 一時停止中
- : 早戻し中
- : 早送り中
- : スロー戻し中
- : スロー再生中

再生方法アイコン

- : タイトルリピート
- : チャプターリピート

② 再生操作パネル (P33)

早送り / 早戻しやスロー再生などの操作が行えます。

③ 戻る

操作メニューを消し、映像だけの状態に戻ります。

④ 機能

[サーチ](P35) や [再生方法](P36)、[リスト表示](P36) が選べるメニューを表示します。

⑤ 再生 (P33)

他のメニュー表示中にタッチすると、早送り / 早戻しやスロー再生などが行える再生操作パネルを表示します。
(再生操作パネル表示中は何も起こりません。)

⑥ 切換 (P37)

音声や副画面などを切り換えるときに使用します。

⑦ 上へ / 下へ

操作メニューを上または下に移動します。

⑧ 情報

ソースプレートの表示をオン / オフすることができます。

BDMV**メニュー操作パネルについて**

トップメニューやポップアップメニューなどの操作が行えるメニュー操作パネルについて説明します。



ポップアップ	ポップアップメニューの表示をオン/オフすることができます。
トップメニュー	本編などを再生中にタッチすると、ディスクのトップメニューに戻ることができます。
本編に戻る	トップメニューなどを表示中にタッチすると、本編に戻ることができます。
▲	ディスク内のトップメニューやポップアップメニューを選ぶときに使用します。[決定]にタッチすると、選んだメニューを確定します。
▼	
◀	
▶	
決定	

BDMV**数字操作パネルについて**

ゲームなどの数字入力やカラーキー入力が必要なコンテンツで使用します。数字操作パネルで数字入力を行っても動作しない場合は、「数字入力でメニューを選ぶ」(P37)での操作をお試しください。



0~9	数字入力が必要なコンテンツで使用します。
青 赤 緑 黄	カラーキー入力が必要なコンテンツで使用します。

BDMV BDAV**再生操作パネルについて**

※ 画面例は BDMV

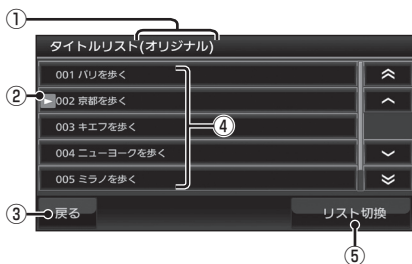
◀	スロー戻し再生を行います。
▶	スロー再生を行います。
■	再生を停止し、停止中メニュー(P34)を表示します。
	再生を一時停止します。
▶	一時停止中やスロー再生中にタッチすると通常の再生に戻ります。
◀◀	早戻し再生を行います。
▶▶	早送り再生を行います。
◀	現在再生中のチャプターの先頭または1つ前のチャプターへ移動します。
▶	次のチャプターへ移動します。
前タイトル	現在再生中のタイトルの先頭または1つ前のタイトルへ移動します。
次タイトル	次のタイトルへ移動します。
Still Off * 1,2	スチル画像(静止画)の再生を終了して、次のコンテンツの再生を開始します。(対応しているディスクコンテンツのみ)

※ 1 BDMV のみの項目です。

※ 2 スチル画像(静止画)を再生しているときは、一時停止とは異なり、状態アイコン(P31)が となります。このときに、[Still Off]にタッチすると静止状態を解除することができます。また、状態アイコンが のときは、[▶]にタッチすると、一時停止を解除できます。

■ タイトルリストについて

[機能] → [リスト表示] にタッチして表示するタイトルリストについて説明します。



① タイトル種別

現在表示中のリストが“オリジナル”が“プレイリスト”かを表示します。

② 再生中マーク

現在再生されているタイトルに表示されます。

③ 戻る

再生中のときは操作メニュー (P32) に戻り、停止中のときは停止中メニュー (P34) に戻ります。

④ タイトル名

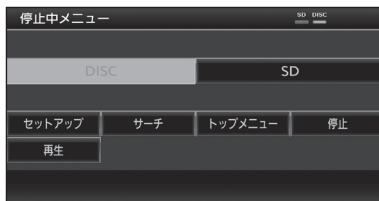
ディスク内に格納されているタイトルの名称が表示されます。タッチするとそのタイトルの再生を開始します。

⑤ リスト切替

タイトルリストを“オリジナル” → “プレイリスト”または“プレイリスト” → “オリジナル”と切り換えます。

■ 停止中メニューについて

停止中のメニューについて説明します。



※ 画面例は BDMV

DISC	選択メディアがSDカードの場合は、タッチすると選択メディアがディスクに切り換わり再生を開始します。
SD	SDカードが本機に挿入されている場合は、タッチすると選択メディアがSDカードに切り換わり再生を開始します。
セットアップ	本機の初期設定が行えます。 →「セットアップを行う」(P71)
サーチ	再生したいタイトル番号を入力してタイトルを選ぶことができます。
トップメニュー ^{*1}	ディスク内のトップメニューを表示します。
リスト表示 ^{*2}	タイトルリスト (P34) を表示します。
停止	通常は停止中メニューを表示した直後は、レジューム再生 (続き再生) が可能な状態で、[再生] にタッチすると続きからの再生を開始することができます。[停止] にタッチするとレジューム再生が解除状態となり [再生] にタッチしてもディスクの最初からの再生となります。レジューム再生が解除された状態では、[停止] スイッチがマスク状態 (グレー表示) となります。
再生	現在選ばれているメディア (ディスクまたはSDカード) の再生を開始します。

※ 1 BDMV のみの項目です。

※ 2 BDAV のみの項目です。

タイトル番号やチャプター番号を選ぶ

再生したいタイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

1 再生中、画面にタッチする**2** **機能** → **サーチ** にタッチする**3** **サーチ切換** にタッチして
“タイトルサーチ” または
“チャプターサーチ” を選ぶ**4** 数字にタッチして再生したい
“番号” を入力する**5** **決定** にタッチする

指定した番号のタイトルまたはチャプターから再生します。

アドバイス

- タイトルの場合は最大で2桁、チャプターの場合は最大4桁まで入力できます。
- 入力した数字を消す場合は、[後退]にタッチします。

■ 停止画面からの操作

停止中メニューではタイトルサーチのみ行うことができます。

1 停止中、**サーチ** にタッチする**2** 数字にタッチして再生したい
“タイトル番号” を入力する**3** **決定** にタッチする

指定した番号のタイトルから再生します。

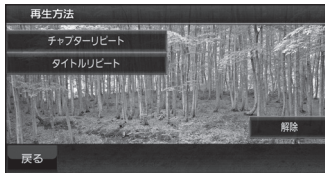
再生方法を変更する

タイトルやチャプターのリピート再生が行えます。

1 再生中、画面にタッチする

2 **機能** → **再生方法** にタッチする

3 変更したい“再生方法”にタッチする

4 **戻る** にタッチする

▼
再生方法アイコン



選んだ再生方法を開始します。

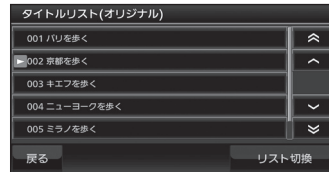
■ 再生方法について

チャプターリピート	再生中のチャプターを繰り返し再生します。
タイトルリピート	再生中のタイトルを繰り返し再生します。
解除	選択中の再生方法を解除し通常の再生に戻ります。

タイトルリストを表示する

BD-AV に記録されているタイトルのリストを表示します。

1 再生中、画面にタッチする

2 **機能** → **リスト表示** にタッチする

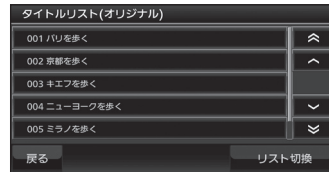
タイトルリストを表示します。

アドバイス

- タイトルリストの表示内容について詳しくは「タイトルリストについて」(P34)をご覧ください。

■ 停止画面からの操作

停止画面からタイトルリストを表示します。

1 停止中、**リスト表示** にタッチする

タイトルリストを表示します。

BDMV

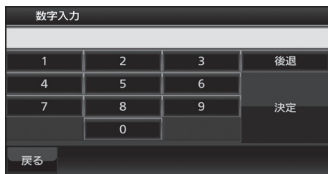
数字入力でメニューを選ぶ

ディスクのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。数字入力画面で数字入力を行っても動作しない場合は、「数字操作パネルについて」(P33)での操作をお試しください。

1 再生中、画面にタッチする

2 機能 → **数字入力** にタッチする

3 数字にタッチして再生したい“メニュー番号”を入力する



4 決定 にタッチする

指定したメニュー番号の項目を再生します。

BDMV **BDVA**

情報を切り換える

アングルや言語などを切り換えることができます。

1 再生中、画面にタッチする

2 切換 にタッチする

3 切り換えたい項目にタッチする



※ 画面例は BDMV

切り換えが完了します。

切り換えができる項目について

アングル ^{※1}	複数のアングルが収録されたディスクであればアングルを切り換えることができます。
字幕表示 ^{※1}	字幕表示のオン/オフが行えます。
字幕選択 ^{※1}	複数の字幕が収録されたディスクであれば字幕を切り換えることができます。
音声	複数の音声 that 収録されたディスクであれば音声を切り換えることができます。
副画面	ピクチャー・イン・ピクチャーに対応したディスクであれば副画面の表示をオン/オフすることができます。
副画面選択 ^{※1}	複数の副画面が収録されたディスクであれば副画面を切り換えることができます。
副画面音声	ピクチャー・イン・ピクチャーに対応したディスクであれば副画面の音声をオン/オフすることができます。
副画面音声選択 ^{※1}	複数の副画面音声 that 収録されたディスクであれば副画面の音声を切り換えることができます。
音声多重 ^{※2}	二ヶ国語放送のような複数の音声が収録されたディスクであれば [主]→[副]→[主+副]→[主]…のように音声を切り換えることができます。
情報	ソースプレートの表示をオン/オフすることができます。

※1 BDMV のみの項目です。

※2 BDAV のみの項目です。

PIN ロックがされているとき

PIN ロックがされているディスクまたはタイトルを再生すると、以下のPIN ロック解除画面が表示されます。

1 数字にタッチして4桁の“解除コード”を入力する



2 決定 にタッチする

正しい解除コードが入力された場合は、PIN ロックが解除されディスクまたはタイトルの再生を開始します。

視聴制限があるとき

「視聴制限のレベルを設定する」(P73) で再生できるシーンを限定していた場合に、視聴制限のあるディスクを再生すると、再生を停止します。

お知らせ

- 視聴制限に関する動作内容は、ディスクによって異なります。

DVD (AVCHD / AVCREC / DVD-VIDEO / DVD-VR / DVD-AUDIO)

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P20)

ここでは、「AVCHD」または「AVCREC」、「DVD-VIDEO」、「DVD-AUDIO」、「DVD-VR」が再生された状態から説明します。

注意

- 映像をご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- ディスクによってはメニューがない場合や場面によって表示できない場合があります。また、ディスク側の規制から早送りやチャプタースキップなどの操作ができない場合があります。そのようなときは、⓪マークを表示します。
- DOLBY DIGITAL や MPEG2 オーディオなどの多チャンネル方式で記録した音声は、ステレオ 2ch で出力(ダウンミックス)します。
- ディスクによっては録音レベルが異なるため、他のメディアからDVDに切り換えると、音量に差が感じられることがあります。

AVCHD AVCREC DVD-V DVD-VR DVD-A

操作メニューを表示する

DVD を操作するためのメニューを表示します。

1 再生中、画面にタッチする



操作メニューを表示します。

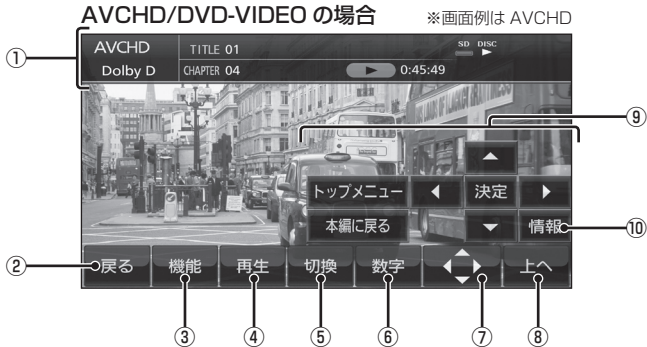
アドバイス

- 各メニューの動作内容について詳しくは「表示内容について」(P40)をご覧ください。

AVCHD AVCREC DVD-V DVD-VR

■ 再生中の操作メニュー

再生中、画面にタッチしたときに表示する操作メニューについて説明します。



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名および音源、タイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間などを表示します。

状態アイコン

- : 再生中
- : 一時停止中
- : 早戻し中
- : 早送り中
- : スロー戻し中
- : スロー再生中
- : MENU 表示中

② 戻る

操作メニューを消し、映像だけの状態に戻ります。

③ 機能

[サーチ](P45) や [数字入力](P49) が選べるメニューを表示します。

④ 再生 (P43)

他のメニュー表示中にタッチすると、早送り / 早戻しやスロー再生などが行える再生操作パネルを表示します。
(再生操作パネル表示中は何も起こりません。)

⑤ 切換 (P50)

アングルや言語などを切り換えるときに使用します。

⑥ 数字 *1 (P43)

ゲームなどの数字入力が必要なコンテンツで使用します。
(数字操作パネル表示中は何も起こりません。)

⑦ メニュー操作パネル表示スイッチ

他のメニュー表示中にタッチすると、メニュー操作パネル (P43) を表示します。
(メニュー操作パネル表示中は何も起こりません。)

⑧ 上へ / 下へ

操作メニューを上または下に移動します。

⑨ メニュー操作パネル (P43)

ディスクに収録されているメニューの操作が行えます。

⑩ 情報

ソースプレートの表示をオン / オフすることができます。

※ 1 AVCHD のみの項目です。

AVCREC/DVD-VR の場合

※画面例は AVCREC



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名および音源、タイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間、再生方法アイコンなどを表示します。

状態アイコン

- : 再生中
- : 一時停止中
- : 早戻し中
- : 早送り中
- : スロー戻し中
- : スロー再生中

再生方法アイコン

- : タイトルリピート
- : チャプターリピート

② 再生操作パネル (P43)

早送り / 早戻しやスロー再生などの操作が行えます。

③ 戻る

操作メニューを消し、映像だけの状態に戻ります。

④ 機能

[サーチ](P45) や [再生方法](P47)、[リスト表示](P48) が選べるメニューを表示します。

⑤ 再生 (P43)

他のメニュー表示中にタッチすると、早送り / 早戻しやスロー再生などが行える再生操作パネルを表示します。
(再生操作パネル表示中は何も起こりません。)

⑥ 切換 (P50)

字幕表示や音声などを切り換えるときに使用します。

⑦ 上へ / 下へ

操作メニューを上または下に移動します。

⑧ 情報

ソースプレートの表示をオン / オフすることができます。

DVD-AUDIO の場合



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名および音源、グループ番号、トラック番号、状態アイコン、再生経過時間、再生方法アイコンなどを表示します。

状態アイコン

- : 再生中
- : 一時停止中
- : 早戻し中
- : 早送り中
- : スロー戻し中
- : スロー再生中

再生方法アイコン

- : リピート
- : グループリピート
- : オールランダム
- : グループランダム
- : スキャン

② 戻る

操作メニューを消し、映像だけの状態に戻ります。

③ 機能

[サーチ](P46) や [数字入力](P49)、[再生方法](P47) が選べるメニューを表示します。

④ 再生 (P43)

他のメニュー表示中にタッチすると、早送り / 早戻しやスロー再生などが行える再生操作パネルを表示します。
(再生操作パネル表示中は何も起こりません。)

⑤ 切換 (P50)

アングルや言語などを切り換えるときに使用します。

⑥ メニュー操作パネル表示スイッチ

他のメニュー表示中にタッチすると、メニュー操作パネル (P43) を表示します。
(メニュー操作パネル表示中は何も起こりません。)

⑦ 上へ / 下へ

操作メニューを上または下に移動します。

⑧ メニュー操作パネル (P43)

ディスクに収録されているメニューの操作が行えます。

⑨ 情報

ソースプレートの表示をオン / オフすることができます。

AVCHD DVD-V DVD-A

メニュー操作パネルについて

ディスクに収録されているメニューの操作が行えるメニュー操作パネルについて説明します。



※ 画面例は AVCHD

トップメニュー	本編などを再生中にタッチすると、ディスクのトップメニューに戻るることができます。
本編に戻る ^{※1}	トップメニューなどを表示中にタッチすると、本編に戻ることができます。
▲	ディスク内のトップメニューやポップアップメニューを選ぶときに使用します。[決定]にタッチすると、選んだメニューを確定します。
▼	
◀	
▶	
決定	

※1 DVD-VIDEO および DVD-AUDIO は本編再生中には表示されません。

AVCHD

数字操作パネルについて

ゲームなどの数字入力が必要なコンテンツで使用します。



0~9	数字入力が必要なコンテンツで使用します。
青 赤 緑 黄	AVCHD では使用しません。

AVCHD AVCREC DVD-V DVD-VR DVD-A

再生操作パネルについて



※ 画面例は DVD-VIDEO

◀	スロー戻し再生を行います。
▶	スロー再生を行います。
■	再生を停止し、停止中メニュー(P44)を表示します。
	再生を一時停止します。
▶	一時停止中やスロー再生中にタッチすると通常の再生に戻ります。
◀◀	早戻し再生を行います。
▶▶	早送り再生を行います。
◀◀ ^{※1}	現在再生中のチャプターの先頭または1つ前のチャプターへ移動します。
▶▶ ^{※1}	次のチャプターへ移動します。
前タイトル ^{※2}	現在再生中のタイトルの先頭または1つ前のタイトルへ移動します。
次タイトル ^{※2}	次のタイトルへ移動します。
前グループ ^{※3}	現在再生中のグループの先頭または1つ前のグループへ移動します。
次グループ ^{※3}	次のグループへ移動します。
Go Up ^{※4}	あらかじめディスク側で決められた特定の範囲を再生します。
Still Off ^{※5}	スチル画像(静止画)の再生を終了して、次のコンテンツの再生を開始します。(対応しているディスクコンテンツのみ)
次の静止画 ^{※6}	静止画表示中に、次の静止画を表示することができます。 →「静止画を見る」(P49)

※1 DVD-AUDIO の場合は、トラックの操作となります。

※2 AVCHD および AVCREC、DVD-VIDEO、DVD-VR の項目です。

※3 DVD-AUDIO のみの項目です。

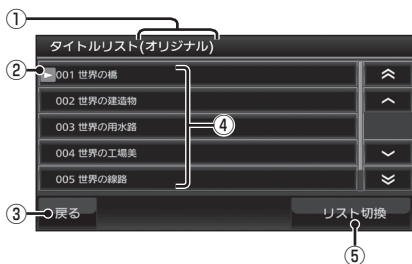
※4 DVD-VIDEO のみの項目です。

※5 AVCHD および DVD-VIDEO、DVD-VR の項目です。

※6 DVD-VR のみの項目です。

■ タイトルリストについて

[機能] → [リスト表示] にタッチして表示するタイトルリストについて説明します。



① タイトル種別

現在表示中のリストが“オリジナル”か“プレイリスト”かを表示します。

② タイトル名

ディスク内に格納されているタイトルの名称が表示されます。タッチするとそのタイトルの再生を開始します。

③ 再生中マーク

現在再生されているタイトルに表示されます。

④ 戻る

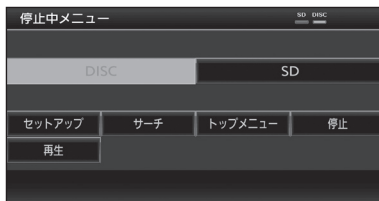
再生中のときは操作メニュー (P43) に戻り、停止中のときは停止中メニュー (P44) に戻ります。

⑤ リスト切替

タイトルリストを“オリジナル” → “プレイリスト” または “プレイリスト” → “オリジナル” と切り換えます。

■ 停止中メニューについて

停止中のメニューについて説明します。



※ 画面例は AVCHD

DISC	選択メディアがSDカードの場合は、タッチすると選択メディアがディスクに切り換わり再生を開始します。
SD	SDカードが本機に挿入されている場合は、タッチすると選択メディアがSDカードに切り換わり再生を開始します。
セットアップ	本機の初期設定が行えます。 →「セットアップを行う」(P71)
サーチ	再生したいタイトル番号を入力してタイトルを選ぶことができます。
トップメニュー ^{*1}	ディスク内のトップメニューを表示します。
リスト表示 ^{*2}	タイトルリスト (P44) を表示します。
停止	通常は停止中メニューを表示した直後は、レジューム再生 (続き再生) が可能な状態で、[再生] にタッチすると続きからの再生を開始することができます。[停止] にタッチするとレジューム再生が解除状態となり [再生] にタッチしてもディスクの最初からの再生となります。レジューム再生が解除された状態では、[停止] スイッチがマスク状態 (グレー表示) となります。
再生	現在選ばれているメディア (ディスクまたはSDカード) の再生を開始します。

※ 1 AVCHD/DVD-VIDEO/DVD-AUDIO の項目です。

※ 2 AVCREC/DVD-VR の項目です。

タイトル番号やチャプター番号を選ぶ

再生したいタイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

1 再生中、画面にタッチする**2 機能** → **サーチ** にタッチする**3** **サーチ切換** にタッチして
“タイトルサーチ” または
“チャプターサーチ” を選ぶ**4** 数字にタッチして再生したい
“番号” を入力する**5** **決定** にタッチする

指定した番号のタイトルまたはチャプターから再生します。

アドバイス

- タイトルの場合は最大で2桁、チャプターの場合は最大4桁まで入力できます。
- 入力した数字を消す場合は、[後退]にタッチします。

■ 停止画面からの操作

停止中メニューではタイトルサーチのみ行うことができます。

1 停止中、**サーチ** にタッチする**2** 数字にタッチして再生したい
“タイトル番号” を入力する**3** **決定** にタッチする

指定した番号のタイトルから再生します。

グループ番号やトラック番号を選ぶ

再生したいグループ番号やトラック番号を入力して選ぶことができます。

1 再生中、画面にタッチする

2 **機能** → **サーチ** にタッチする

3 **サーチ切換** にタッチして
“グループサーチ” または
“トラックサーチ” を選ぶ

4 数字にタッチして再生したい
“番号” を入力する



5 **決定** にタッチする

指定した番号のグループまたはトラックから再生します。

アドバイス

- グループの場合は最大で1桁、トラックの場合は最大2桁まで入力できます。
- 入力した数字を消す場合は、[後退]にタッチします。

■ 停止画面からの操作

停止中メニューではグループサーチのみ行うことができます。

1 停止中、**サーチ** にタッチする

2 数字にタッチして再生したい
“グループ番号” を入力する



3 **決定** にタッチする

指定した番号のグループから再生します。

■ ボーナsgループがあったとき
サーチ機能を使って入力したグループ番号が
ボナsgループだったとき以下のパスワ
ド入力画面を表示します。

1 数字にタッチして“パスワード” を入力する



2 決定 にタッチする

正しいパスワードが入力された場合は、ボ
ナsgループの再生を開始します。

AVCREC DVD-VR DVD-A

再生方法を変更する

リピート再生やランダム再生が行えます。

1 再生中、画面にタッチする

2 機能 → 再生方法 にタッチする

3 変更したい“再生方法”にタッチ する



4 戻る にタッチする

再生方法アイコン



選んだ再生方法を開始します。

■ 再生方法について

AVCREC/DVD-VR の場合



チャプター リピート	再生中のチャプターを繰り返し再生します。
タイトル リピート	再生中のタイトルを繰り返し再生します。
解除	選択中の再生方法を解除し通常の再生に戻ります。

DVD-AUDIO の場合



リピート	再生中のトラックを繰り返し再生します。
グループ リピート	再生中のグループを繰り返し再生します。
グループ ランダム	再生中のグループ内のトラックを順不同に再生します。
オールランダム	ディスク内のトラックを順不同に再生します。
スキャン	再生中のトラックがあるグループ内のすべての曲が対象で、始めの部分（約 10 秒間 ^{*1} ）ずつ順番に再生します。
解除	選択中の再生方法を解除し通常の再生に戻ります。

*1 工場出荷時のスキャン間隔は 10 秒間ですが、「セットアップを行う」(P71) の「スキャン間隔」で 1～60 秒間に設定することができます。

AVCREC DVD-VR

タイトルリストを表示する

DVD-VR に記録されているタイトルのリストを表示します。

1 再生中、画面にタッチする

2 機能 → リスト表示 にタッチする



タイトルリストを表示します。

アドバイス

- タイトルリストの表示内容について詳しくは「タイトルリストについて」(P44)をご覧ください。

■ 停止画面からの操作

停止画面からタイトルリストを表示します。

1 停止中、リスト表示 にタッチする



タイトルリストを表示します。

静止画を見る

ディスク内にある静止画を見ることができます。

■ DVD-VR の場合

静止画表示中に、次の静止画を表示することができます。

1 再生中、画面にタッチする

2 次の静止画 にタッチする



タッチするたびに、次の静止画の表示に切り換わります。

■ DVD-AUDIO の場合

お知らせ

- ディスク内にブラウザブルピクチャー形式で静止画が収録されていない場合は本機能はご使用になれません。

1 再生中、画面にタッチする

2 機能 → 静止画 にタッチする



静止画を操作するメニューを表示します。

前	前の静止画を表示します。
次	次の静止画を表示します。
HOME	HOME の静止画を表示します。

AVCHD DVD-V DVD-A

数字入力でメニューを選ぶ

ディスクのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。

1 再生中、画面にタッチする

2 機能 → 数字入力 にタッチする

3 数字にタッチして再生したい“メニュー番号”を入力する



4 決定 にタッチする

指定したメニュー番号の項目を再生します。

情報を切り換える

アングルや言語、字幕などを切り換えることができます。

1 再生中、画面にタッチする

2 切換 にタッチする

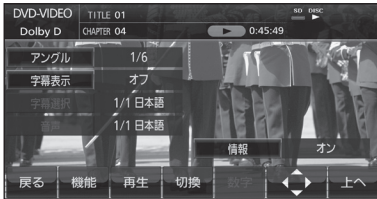
3 切り換えたい項目にタッチする



切り換えが完了します。

■ 切り換えができる項目について

AVCHD/DVD-VIDEO/DVD-AUDIO の場合



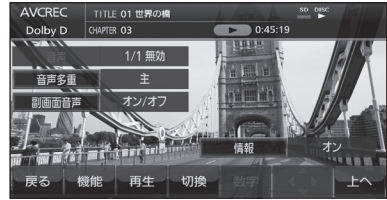
アングル ^{※1,2}	複数のアングルが収録されたディスクであればアングルを切り換えることができます。
字幕表示 ^{※2}	字幕表示のオン/オフが行えます。
字幕選択 ^{※2}	複数の字幕が収録されたディスクであれば字幕を切り換えることができます。
字幕スタイル ^{※3}	複数の字幕スタイルが収録されたディスクであれば字幕スタイルを切り換えることができます。
音声	複数の音声が収録されたディスクであれば音声を切り換えることができます。
情報	ソースプレートの表示をオン/オフすることができます。

※1 DVD-VIDEO のみの項目です。

※2 DVD-AUDIO は、映像が収録されているディスクに限ります。

※3 AVCHD のみの項目です。

AVCREC/DVD-VR の場合



字幕表示 ^{※1}	字幕表示のオン/オフが行えます。
音声	複数の音声が収録されたディスクであれば音声を切り換えることができます。
音声多重	二ヶ国語放送のような複数の音声が収録されたディスクであれば [主]→[副]→[主+副]→[主]…のように音声を切り換えることができます。
副画面音声 ^{※2}	ピクチャー・イン・ピクチャーに対応したディスクであれば副画面の音声をオン/オフすることができます。
情報	ソースプレートの表示をオン/オフすることができます。

※1 DVD-VR のみの項目です。

※2 AVCREC のみの項目です。

PIN ロックがされているとき

PIN ロックがされているディスクまたはタイトルを再生すると、以下のPIN ロック解除画面が表示されます。

1 数字にタッチして4桁の“解除コード”を入力する



2 決定 にタッチする

正しい解除コードが入力された場合は、PIN ロックが解除されディスクまたはタイトルの再生を開始します。

視聴制限があるとき

「視聴制限のレベルを設定する」(P73) で再生できるシーンを限定していた場合に、視聴制限のあるディスクを再生すると、再生を停止する、または視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。また、ディスクによっては、視聴制限のあるシーンに差し掛かるとパスワードを入力する画面を表示する場合があります。ここでは、パスワードを入力する画面が表示された場合の説明をします。

1 戻る にタッチする



再生を停止する、または視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。

お知らせ

- 視聴制限に関する動作内容は、ディスクによって異なります。
- ディスクによっては、[戻る]にタッチしても継続して再生することができない場合があります。
- パスワードを入力し、[決定]にタッチすると視聴制限のあるシーンを飛ばすことなく再生することができます。パスワードは「視聴制限のレベルを設定する」(P73) で設定したパスワードとなります。

VIDEO CD (PBC 有 / PBC 無)

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P20)
ここでは、「VIDEO CD」が再生された状態から説明します。

注意

- 映像をご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- ディスクによってはメニューがない場合や場面によって表示できない場合があります。
- ディスクによっては録音レベルが異なるため、他のメディアから VIDEO CD に切り換えると、音量に差が感じられることがあります。

PBC(プレイバックコントロール)とはメニューによって見たいシーンを選ぶことができる VIDEO CD Ver.2.0 以降の機能です。

VCD2 VCD1

操作メニューを表示する

VIDEO CD を操作するためのメニューを表示します。

1 再生中、画面にタッチする



操作メニューを表示します。

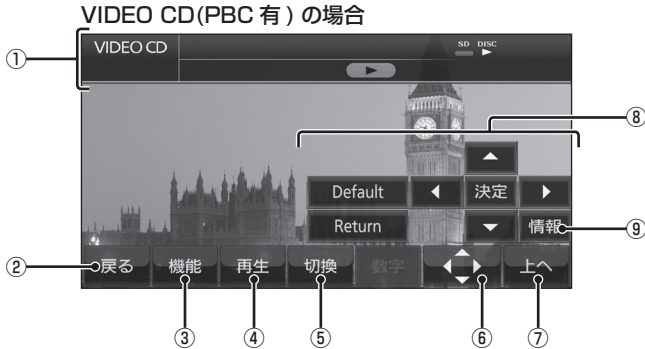
アドバイス

- 各メニューの動作内容について詳しくは「表示内容について」(P53)をご覧ください。

VCD2 VCD1

■ 再生中の操作メニュー

再生中、画面にタッチしたときに表示する操作メニューについて説明します。



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名および状態アイコンなどを表示します。

状態アイコン

- : 再生中
- : 一時停止中
- : 早戻し中
- : 早送り中
- : スロー再生中
- : MENU 表示中

② 戻る

操作メニューを消し、映像だけの状態に戻ります。

③ 機能

[数字入力](P58) が選べるメニューを表示します。

④ 再生 (P55)

他のメニュー表示中にタッチすると、早送り / 早戻しやスロー再生などが行える再生操作パネルを表示します。
(再生操作パネル表示中は何も起こりません。)

⑤ 切換 (P58)

音声多重などを切り換えるときに使用します。

⑥ メニュー操作パネル表示スイッチ

他のメニュー表示中にタッチすると、メニュー操作パネル (P55) を表示します。
(メニュー操作パネル表示中は何も起こりません。)

⑦ 上へ / 下へ

操作メニューを上または下に移動します。

⑧ メニュー操作パネル (P55)

ディスクに収録されているメニューの操作が行えます。

⑨ 情報

ソースプレートの表示をオン / オフすることができます。

VIDEO CD(PBC 無) の場合



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびトラック番号、状態アイコン、再生経過時間、再生方法アイコンなどを表示します。

状態アイコン

- : 再生中
- : 一時停止中
- : 早戻し中
- : 早送り中
- : スロー再生中
- : MENU 表示中

再生方法アイコン

- : リピート
- : ランダム

② 再生操作パネル (P55)

早送り / 早戻しやスロー再生などの操作が行えます。

③ 戻る

操作メニューを消し、映像だけの状態に戻ります。

④ 機能

[リスト表示] (P57) や [再生方法] (P57) が選べるメニューを表示します。

⑤ 再生 (P55)

他のメニュー表示中にタッチすると、早送り / 早戻しやスロー再生などが行える再生操作パネルを表示します。
(再生操作パネル表示中は何も起こりません。)

⑥ 切換 (P58)

音声多重などを切り換えるときに使用します。

⑦ 上へ / 下へ

操作メニューを上または下に移動します。

⑧ 情報

ソースプレートの表示をオン / オフすることができます。

VCD2**メニュー操作パネルについて**

ディスクに収録されているメニューの操作が行えるメニュー操作パネルについて説明します。



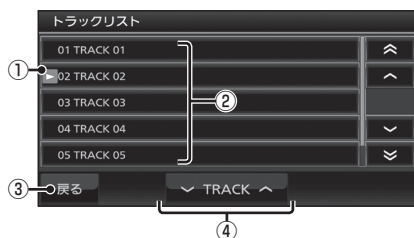
Default	ディスク側で決められた初期表示の画面(メニューなど)に戻ります。
Return	あらかじめディスク側で決められた特定の範囲を再生します。
▲	ディスク内のメニューを選ぶときに使用します。[決定]にタッチすると、選んだメニューを確定します。
▼	
◀	
▶	
決定	

VCD2 VCD1**再生操作パネルについて**

▶	スロー再生を行います。
■	再生を停止し、停止中メニュー(P56)を表示します。
	再生を一時停止します。
▶	一時停止中やスロー再生中にタッチすると通常の再生に戻ります。
◀◀	早戻し再生を行います。
▶▶	早送り再生を行います。
◀	現在再生中のトラックの先頭または1つ前のトラックへ移動します。
▶	次のトラックへ移動します。

VCD1

■ トラックリストについて



① 再生中マーク

現在再生されているトラックに表示されます。

② トラック名

ディスク内に格納されているトラックの名称が表示されます。タッチするとそのトラックの再生を開始します。

③ 戻る

再生中のときは操作メニュー (P54) に戻り、停止中のときは停止中メニュー (P56) に戻ります。

④ ▼ TRACK ▲

前後のトラックを選ぶことができます。

VCD2 VCD1

■ 停止中メニューについて

停止中のメニューについて説明します。



※ 画面例は VIDEO CD (PBC 無)

DISC	選択メディアがSDカードの場合は、タッチすると選択メディアがディスクに切り換わり再生を開始します。
SD	SDカードが本機に挿入されている場合は、タッチすると選択メディアがSDカードに切り換わり再生を開始します。
セットアップ	本機の初期設定が行えます。 →「セットアップを行う」(P71)
リスト表示 ^{*1}	トラックリスト (P56) を表示します。
停止	通常は停止中メニューを表示した直後は、レジューム再生 (続き再生) が可能な状態で、[再生] にタッチすると続きからの再生を開始することができます。[停止] にタッチするとレジューム再生が解除状態となり [再生] にタッチしてもディスクの最初からの再生となります。レジューム再生が解除された状態では、[停止] スイッチがマスク状態 (グレー表示) となります。
再生	現在選ばれているメディア (ディスクまたはSDカード) の再生を開始します。

※ 1 VIDEO CD (PBC 無) のみの項目です。

トラックリストを表示する

VIDEO CD に記録されているトラックのリストを表示します。

1 再生中、画面にタッチする

2 機能 → リスト表示 にタッチする



トラックリストを表示します。

アドバイス

- トラックリストの表示内容について詳しくは「トラックリストについて」(P56)をご覧ください。

■ 停止画面からの操作

停止画面からトラックリストを表示します。

1 停止中、リスト表示 にタッチする



トラックリストを表示します。

再生方法を変更する

リピート再生やランダム再生が行えます。

1 再生中、画面にタッチする

2 機能 → 再生方法 にタッチする

3 変更したい“再生方法”にタッチする



4 戻る にタッチする

再生方法アイコン



選んだ再生方法を開始します。

■ 再生方法について

リピート	再生中のトラックを繰り返し再生します。
ランダム	ディスク内のトラックを順不同に再生します。
解除	選択中の再生方法を解除し通常の再生に戻ります。

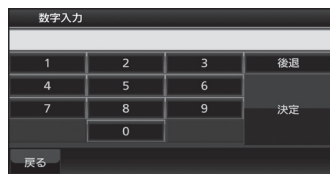
数字入力でメニューを選ぶ

ディスクのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。

1 再生中、画面にタッチする

2 **機能** → **数字入力** にタッチする

3 数字にタッチして再生したい “メニュー番号”を入力する



4 **決定** にタッチする

指定したメニュー番号の項目を再生します。

情報を切り換える

音声多重などを切り換えるときに使用します。

1 再生中、画面にタッチする

2 **切換** にタッチする

3 切り換えたい項目にタッチする



切り換えが完了します。

■ 切り換えができる項目について

音声多重	二ヶ国語放送のような複数の音声収録されたディスクであれば [主] → [副] → [主+副] → [主]・・・のように音声を切り換えることができます。
情報	ソースプレートの表示をオン/オフすることができます。

音楽 CD (CD-DA / CD-TEXT) CD

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P20)
ここでは、「CD-DA」または「CD-TEXT」が再生された状態から説明します。

表示内容について

■ 再生中の操作メニュー

再生中に表示されるメニューと表示内容について説明します。



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名および音源、トラック番号、状態アイコン、再生経過時間、再生方法アイコンなどを表示します。(ディスク内にタイトル情報があれば、アルバム名と曲名を表示します。)

状態アイコン

 : 再生中

再生方法アイコン

 : リピート

 : ランダム

 : スキャン

② アルバム名

ディスク内にタイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

③ アーティスト名

ディスク内にタイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

④ トラック番号

⑤ 曲名

ディスク内にタイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければトラック番号を表示します。

⑥ ▼ TRACK ▲

前後のトラックを選ぶことができます。

⑦ 停止

再生を停止し、停止中メニュー (P60) を表示します。

⑧ 再生方法 (P61)

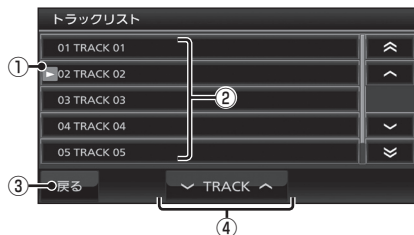
リピート再生やランダム再生、スキャン再生が行えます。

⑨ リスト表示 (P61)

トラックリストを表示します。

■ トラックリストについて

[リスト表示] にタッチしたときに表示するトラックリストについて説明します。



① 再生中マーク

現在再生されているトラックに表示されます。

② トラック番号 / 曲名

ディスク内にタイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければトラック番号を表示します。タッチするとそのトラックの再生を開始します。

③ 戻る

再生中のときは操作メニュー (P59) に戻り、停止中のときは停止中メニュー (P60) に戻ります。

④ ▼ TRACK ▲

前後のトラックを選ぶことができます。

■ 停止中メニューについて

停止中のメニューについて説明します。



DISC	選択メディアがSDカードの場合は、タッチすると選択メディアがディスクに切り換わり再生を開始します。
SD	SDカードが本機に挿入されていた場合は、タッチすると選択メディアがSDカードに切り換わり再生を開始します。
セットアップ	本機の初期設定が行えます。 →「セットアップを行う」(P71)
リスト表示	トラックリスト (P61) を表示します。
停止	通常は停止中メニューを表示した直後は、レジューム再生 (続き再生) が可能な状態で、[再生] にタッチすると続きからの再生を開始することができます。[停止] にタッチするとレジューム再生が解除状態となり [再生] にタッチしてもディスクの最初からの再生となります。レジューム再生が解除された状態では、[停止] スイッチがマスク状態 (グレー表示) となります。
再生	現在選ばれているメディア (ディスクまたはSDカード) の再生を開始します。

トラックリストを表示する

音楽 CD に記録されているトラックのリストを表示します。

- 再生中の操作メニューで、**リスト表示** にタッチする



トラックリストを表示します。

アドバイス

- トラックリストの表示内容について詳しくは「トラックリストについて」(P60)をご覧ください。

■ 停止画面からの操作

停止画面からトラックリストを表示します。

- 1 停止中、**リスト表示** にタッチする

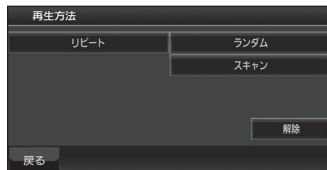


トラックリストを表示します。

再生方法を変更する

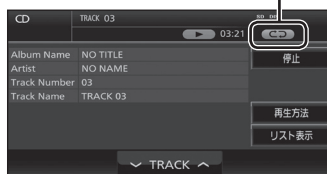
リピート再生やランダム再生、スキャン再生が行えます。

- 1 再生中の操作メニューで、**再生方法** にタッチする
- 2 変更したい“再生方法”にタッチする



- 3 **戻る** にタッチする

再生方法アイコン



選んだ再生方法を開始します。

■ 再生方法について

リピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ランダム	ディスク内の曲を順不同で再生します。
スキャン	ディスク内の曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間 ^{※1} ずつ順番に再生します。
解除	選択中の再生方法を解除し通常の再生に戻ります。

※1 工場出荷時のスキャン間隔は 10 秒間ですが、「セットアップを行う」(P71)の「スキャン間隔」で 1 ~ 60 秒間に設定することができます。

音楽ファイル (MP3 / WMA / AAC)

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P20)

ここでは、ディスクに記録された音楽ファイルまたは SD カードに記録された音楽ファイルが再生された状態から説明します。

表示内容について

■ 再生中の操作メニュー

再生中に表示されるメニューと表示内容について説明します。




① ソースプレート

ファイル形式およびアルバム名、曲名、状態アイコン、再生経過時間、再生方法アイコンなどを表示します。

状態アイコン


 : 再生中


再生方法アイコン

 : リピート

 : フォルダリピート

 : フォルダランダム

 : オールランダム

 : スキャン

② ファイル名

再生中の曲のファイル名を表示します。

③ アルバム名

タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

④ アーティスト名

タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

⑤ 曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければトラック番号を表示します。

⑥

前後のファイルを選ぶことができます。

⑦

再生を停止し、停止中メニュー (P64) を表示します。

⑧ (P65)

リピート再生やランダム再生、スキャン再生などが行えます。

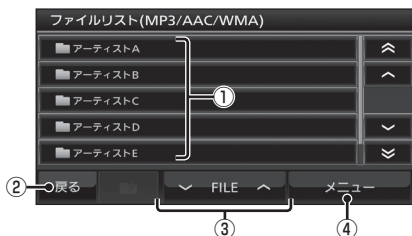
⑨ (P64)

ファイルリストを表示します。

■ ファイルリストについて

[リスト表示] にタッチしたときに表示するファイルリストについて説明します。

展開前



展開後



① フォルダ名

ディスク内に記録されているフォルダ名を表示します。
タッチするとそのフォルダを展開します。

② 戻る

再生中のときは操作メニュー (P62) に戻り、停止中のときは停止中メニュー (P64) に戻ります。

③ FILE

前後のファイルを選ぶことができます。

④ メニュー (P65)

ファイルリストの操作やディスク内の音楽ファイルや静止画ファイルを選ぶメニューを表示します。

⑤ 再生中マーク

現在再生されているファイルに表示されます。

⑥ ファイル名

ディスク内に記録されているファイル名を表示します。
タッチするとそのファイルの再生を開始します。

⑦

1 階層上位のフォルダに戻ります。

■ 停止中メニューについて

停止中のメニューについて説明します。



DISC	選択メディアがSDカードの場合は、タッチすると選択メディアがディスクに切り換わり再生を開始します。
SD	SDカードが本機に挿入されていた場合は、タッチすると選択メディアがSDカードに切り換わり再生を開始します。
セットアップ	本機の初期設定が行えます。 →「セットアップを行う」(P71)
リスト表示	ファイルリスト (P63) を表示します。
停止	通常は停止中メニューを表示した直後は、レジューム再生(続き再生)が可能な状態で、[再生]にタッチすると続きからの再生を開始することができます。[停止]にタッチするとレジューム再生が解除状態となり[再生]にタッチしてもディスクの最初からの再生となります。レジューム再生が解除された状態では、[停止]スイッチがマスク状態(グレー表示)となります。
再生	現在選ばれているメディア(ディスクまたはSDカード)の再生を開始します。

■ ファイルリストを表示する

ディスクまたはSDカードに記録されている音楽ファイルのリストを表示します。

1 再生中の操作メニューで、 リスト表示 にタッチする



ファイルリストを表示します。

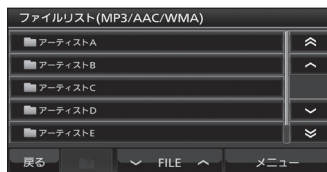
アドバイス

- ファイルリストの表示内容について詳しくは「ファイルリストについて」(P63)をご覧ください。

■ 停止画面からの操作

停止画面からファイルリストを表示します。

1 停止中、リスト表示 にタッチする

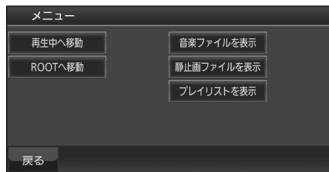


ファイルリストを表示します。

■ ファイルリストのメニューを表示する

ファイルリストの操作やディスク内の音楽ファイルや静止画ファイルを選ぶメニューを表示します。

1 ファイルリスト表示中、 メニュー にタッチする



ファイルリストのメニューを表示します。

再生中へ移動	現在再生中のファイルがどのフォルダにあるかわからなくなったときに使用します。タッチすると、再生中のファイルが表示されたファイルリストを表示します。
ROOT へ移動	最上位階層のフォルダに移動したいときに使用します。タッチすると、最上位階層のフォルダが表示されたファイルリストを表示します。
音楽ファイル を表示	ディスクまたはSDカード内の音楽ファイルを表示するときに使用します。タッチすると、音楽ファイルのファイルリストを表示します。 ^{*1}
静止画ファイル を表示	ディスクまたはSDカード内の静止画ファイルを表示するときに使用します。タッチすると、静止画ファイルのファイルリストを表示します。 ^{*2}
プレイリスト を表示	ディスクまたはSDカード内のプレイリストを表示するときに使用します。タッチすると、プレイリストのファイルリストを表示します。 ^{*3}

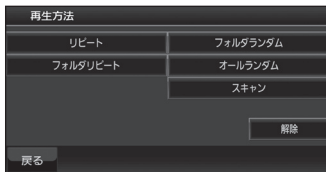
- ※1 ディスクまたはSDカード内に音楽ファイルがない場合は、リストに何も表示されない状態で表示します。
- ※2 ディスクまたはSDカード内に静止画ファイルがない場合は、リストに何も表示されない状態で表示します。
- ※3 ディスクまたはSDカード内にプレイリストがない場合は、リストに何も表示されない状態で表示します。

再生方法を変更する

リピート再生やランダム再生、スキャン再生が行えます。

1 再生中の操作メニューで、 再生方法 にタッチする

2 変更したい“再生方法”にタッチする



3 戻る にタッチする

再生方法アイコン



選んだ再生方法を開始します。

■ 再生方法について

リピート	再生中のファイルを繰り返し再生します。
フォルダ リピート	再生中のファイルがあるフォルダを繰り返し再生します。
フォルダ ランダム	再生中のファイルがあるフォルダ内のファイルを順不同に再生します。
オールランダム	ディスク内のファイルすべてを順不同に再生します。
スキャン	再生中のファイルがあるフォルダ内のすべてのファイルが対象で、始めの部分を約10秒間 ^{*1} ずつ順番に再生します。
解除	選択中の再生方法を解除し通常の再生に戻ります。

- ※1 工場出荷時のスキャン間隔は10秒間ですが、「セッティングを行う」(P71)の「スキャン間隔」で1～60秒間に設定することができます。

静止画ファイル (JPEG)

本機にディスクまたはSDカードを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P20)、→「SDカードを挿入する」(P22) ここでは、ディスクに記録された静止画ファイルまたはSDカードに記録された静止画ファイルが再生された状態から説明します。

注意

- 静止画の映像をご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

■ 対応する画像形式について

本機では、デジタルカメラや携帯端末などで撮影した JPEG 形式の静止画ファイルをディスクやSDカードに記録することでご覧になることができます。

お知らせ

- 画像サイズは、4096 × 4096 まで対応しています。
- JPEG 形式以外の画像形式には対応していません。
- プログレッシブ JPEG には対応していません。
- 可逆圧縮された JPEG には対応していません。

操作メニューを表示する

静止画を操作するためのメニューを表示します。

1 再生中、画面にタッチする



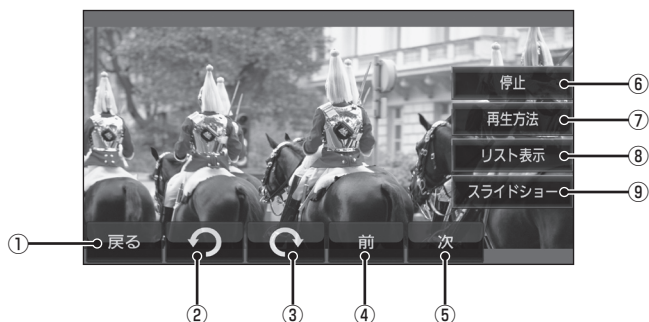
操作メニューを表示します。

アドバイス

- 各メニューの動作内容について詳しくは「表示内容について」(P67) をご覧ください。

■ 再生中の操作メニュー

再生中、画面にタッチしたときに表示する操作メニューについて説明します。



- ① **戻る**
操作メニューを消し、映像だけの状態に戻ります。
- ② **左回転スイッチ**
表示中の静止画を左に 90 度回転します。
- ③ **右回転スイッチ**
表示中の静止画を右に 90 度回転します。
- ④ **前**
前の静止画を表示します。
- ⑤ **次**
次の静止画を表示します。
- ⑥ **停止**
再生を停止し、停止中メニュー (P69) を表示します。
- ⑦ **再生方法** (P70)
リピート再生やランダム再生などが行えます。
[前] や [次]、[スライドショー] にタッチしたときに有効となります。
- ⑧ **リスト表示** (P69)
ファイルリストを表示します。
- ⑨ **スライドショー**
ディスクまたは SD カード内の静止画ファイルを次々に表示していくスライドショーの再生を開始します。

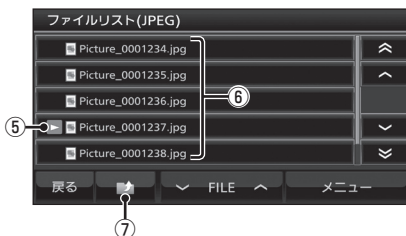
■ ファイルリストについて

[リスト表示] にタッチしたときに表示するファイルリストについて説明します。

展開前



展開後



① フォルダ名

ディスクまたはSDカード内に記録されているフォルダ名を表示します。タッチするとそのフォルダを展開します。

② 戻る

再生中のときは操作メニュー (P67) に戻り、停止中のときは停止中メニュー (P69) に戻ります。

③ FILE

前後のファイルを選ぶことができます。

④ メニュー (P70)

ファイルリストの操作が行えるメニューを表示します。

⑤ 再生中マーク

現在再生されているファイルに表示されます。

⑥ ファイル名

ディスクまたはSDカード内に記録されているファイル名を表示します。タッチするとそのファイルの静止画を表示します。

⑦

1 階層上位のフォルダに戻ります。

■ 停止中メニューについて

停止中のメニューについて説明します。



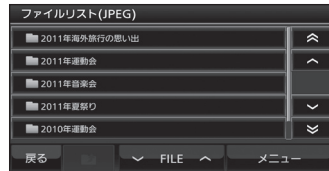
DISC	選択メディアがSDカードの場合は、タッチすると選択メディアがディスクに切り換わり再生を開始します。
SD	SDカードが本機に挿入されていた場合は、タッチすると選択メディアがSDカードに切り換わり再生を開始します。
セットアップ	本機の初期設定が行えます。 →「セットアップを行う」(P71)
リスト表示	ファイルリスト (P68) を表示します。
停止	通常は停止中メニューを表示した直後は、レジューム再生 (続き再生) が可能な状態で、[再生] にタッチすると続きからの再生を開始することができます。[停止] にタッチするとレジューム再生が解除状態となり [再生] にタッチしてもディスクの最初からの再生となります。レジューム再生が解除された状態では、[停止] スイッチがマスク状態 (グレー表示) となります。
再生	現在選ばれているメディア (ディスクまたはSDカード) の再生を開始します。

■ ファイルリストを表示する

ディスクまたはSDカードに記録されている静止画ファイルのリストを表示します。

1 再生中、画面にタッチする

2 リスト表示 にタッチする



ファイルリストを表示します。

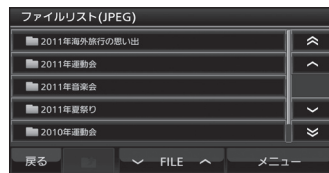
アドバイス

- ファイルリストの表示内容について詳しくは「ファイルリストについて」(P68) をご覧ください。

■ 停止画面からの操作

停止画面からファイルリストを表示します。

1 停止中、リスト表示 にタッチする

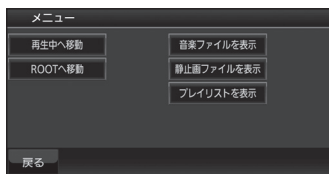


ファイルリストを表示します。

■ ファイルリストのメニューを表示する

ファイルリストの操作が行えるメニューを表示します。

1 ファイルリスト表示中、 メニュー にタッチする



ファイルリストのメニューを表示します。

再生中へ移動	現在再生中のファイルがどのフォルダにあるかわからなくなったときに使用します。タッチすると、再生中のファイルが表示されたファイルリストを表示します。
ROOTへ移動	最上位階層のフォルダに移動したいときに使用します。タッチすると、最上位階層のフォルダが表示されたファイルリストを表示します。
音楽ファイルを表示	ディスクまたはSDカード内の音楽ファイルを表示するときに使用します。タッチすると、音楽ファイルのファイルリストを表示します。 ^{*1}
静止画ファイルを表示	ディスクまたはSDカード内の静止画ファイルを表示するときに使用します。タッチすると、静止画ファイルのファイルリストを表示します。 ^{*2}
プレイリストを表示	ディスクまたはSDカード内のプレイリストを表示するときに使用します。タッチすると、プレイリストのファイルリストを表示します。 ^{*3}

- *1 ディスクまたはSDカード内に音楽ファイルがない場合は、リストに何も表示されない状態で表示します。
- *2 ディスクまたはSDカード内に静止画ファイルがない場合は、リストに何も表示されない状態で表示します。
- *3 ディスクまたはSDカード内にプレイリストがない場合は、リストに何も表示されない状態で表示します。

再生方法を変更する

リピート再生やランダム再生などが行えます。

お知らせ

- [前]や[次]、[スライドショー]にタッチしたときに有効となります。

1 再生中、画面にタッチする

2 再生方法 にタッチする

3 変更したい“再生方法”にタッチする



4 戻る にタッチする



[前]や[次]、[スライドショー]にタッチしたとき、選んだ再生方法の順序で再生します。

■ 再生方法について

フォルダリピート	再生中のファイルがあるフォルダを繰り返して再生します。
フォルダランダム	再生中のファイルがあるフォルダ内のファイルを順不同に再生します。
オールランダム	ディスクまたはSDカード内のファイルすべてを順不同に再生します。
解除	選択中の再生方法を解除し通常の再生に戻ります。

セットアップを行う

本機の初期設定が行えます。

1 停止中、**セットアップ** にタッチする

2 **▽ ページ ▲** にタッチし、設定したい項目のあるページを探す



3 各設定項目のタッチスイッチにタッチし、設定する



設定項目について詳しくは「設定できる項目について」(P76) をご覧ください。

4 **戻る** にタッチする

初期設定が完了します。

セットアップ情報を初期化する

セットアップで設定した各項目を工場出荷時の状態に戻します。

1 停止中、**セットアップ** にタッチする

2 **▽ ページ ▲** にタッチし、“2/4 ページ” を表示する

3 **セットアップ情報初期化** にタッチする

4 **はい** にタッチする

セットアップ情報の初期化が完了します。

優先させる言語を変更する

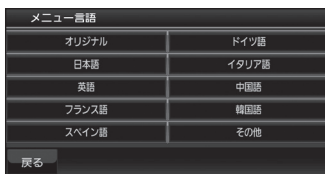
ディスクに記録されている言語(メニュー言語、音声言語、字幕言語)について、優先させたい言語の設定を行います。

1 停止中、**セットアップ** にタッチする

2 変更したい **○○言語** にタッチする



3 変更したい“言語”にタッチする



優先させる言語の変更が完了します。

アドバイス

- 手順3で[オリジナル]を選択すると、ディスク側で決められた初期の言語が設定されます。
- 手順3で[その他]を選択すると、その他の言語を設定することができます。



「言語コード一覧表」(P72) のコードを入力し、[決定]にタッチします。

■ 言語コード一覧

コード	言語
6565	アフガル語
6566	アブバシア語
6570	アフリカーンス語
6577	アムハラ語
6582	アラビア語
6583	アッサム語
6589	アイマラ語
6590	アゼルバイジャン語
6665	バキシル語
6669	白ロシア語
6671	ブルガリア語
6672	ビハリー語
6673	ビスラマ語
6678	ベンガル語
6679	チベット語
6682	ブルトン語
6765	カタロニア語
6779	コルシカ語
6783	チェコ語
6789	ウェルシュ語
6865	デンマーク語
6869	ドイツ語
6890	ブータン語
6976	ギリシア語
6978	英語
6979	エスペラント語
6983	スペイン語
6984	エストニア語
6985	バスク語
7065	ペルシャ語
7073	フィンランド語
7074	フィジー語
7079	フェロー語
7082	フランス語
7089	フリジア語
7165	アイルランド語
7168	スコットランドゲール語
7176	ガルシア語
7178	グアラニー語
7185	グジャラード語
7265	ハウサ語
7269	ヘブライ語
7273	ヒンディー語
7282	クロアチア語
7285	ハンガリー語
7289	アルメニア語

コード	言語
7365	国際語
7368	インドネシア語
7369	インターリング
7375	イヌピア語
7383	アイスランド語
7384	イタリア語
7465	日本語
7487	ジャワ語
7565	グルジア語
7575	カザフ語
7576	グリーンランド語
7577	カンボジア語
7578	カナダ語
7579	韓国語
7583	カシミール語
7585	クルド語
7589	キルギス語
7665	ラテン語
7678	リンガラ語
7679	ラオス語
7684	リトアニア語
7686	ラトビア語
7771	マダガスカル語
7773	マオリ語
7775	マケドニア語
7776	マラヤーラム語
7778	モンゴル語
7779	モルダビア語
7782	マラータ語
7783	マレー語
7784	マルタ語
7789	ビルマ語
7865	ナウル語
7869	ネパール語
7876	オランダ語
7879	ノルウェー語
7967	オキタン語
7977	オロモ語
7982	オリヤー語
8065	パンジャブ語
8076	ポーランド語
8083	パシュトー語
8084	ポルトガル語
8185	ケチュア語
8277	レトロアンス語
8278	キルンディ語

コード	言語
8279	ルーマニア語
8285	ロシア語
8287	キヤーワンダ語
8365	サンスクリット語
8368	シンド語
8371	サンゴ語
8372	セルボクロアチア語
8373	シンハリー語
8375	スロバキア語
8376	スロベニア語
8377	サモア語
8378	ショナ語
8379	ソマリア語
8381	アルバニア語
8382	セルビア語
8383	シスワティ語
8384	セストゥ語
8385	スンダ語
8386	スウェーデン語
8387	スワヒリ語
8465	タミル語
8469	テルグ語
8471	タジク語
8472	タイ語
8473	ティグリニャ語
8475	トゥルクメン語
8476	タガログ語
8478	セツワナ語
8479	トンガ語
8482	トルコ語
8483	ツォンガ語
8484	タタール語
8487	トウィ語
8575	ウクライナ語
8582	ウルドゥー語
8590	ウズベク語
8673	ベトナム語
8679	ヴォラピュック語
8779	ウォロフ語
8872	コーサ語
8973	イディッシュ語
8979	ヨルバ語
9072	中国語
9085	ズールー語

視聴制限のレベルを設定する

成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場合に視聴制限をかけることができます。(パレンタルロック)

お知らせ

- 最初にご使用になるときはパスワードを設定してください。視聴制限はパスワードが設定されないと操作できません。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルはディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。
- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを変更後、このようなディスクを再生した場合は、一旦ディスクを取り出して視聴制限のないディスクを挿入し、再生可能なレベルに変更してください。

- 1 停止中、**セットアップ** にタッチする
- 2 **▼ ページ ▲** にタッチし、“2/4 ページ” を表示する
- 3 **視聴制限** にタッチする
- 4 **パスワード設定** にタッチする

- 5 “任意のパスワード” を入力し、**決定** にタッチする



4桁の数字を入力します。また、ここで入力した4桁の数字がパスワードとなりますので、忘れないようにメモなどをとっておいてください。

- 6 確認のため再度“パスワード”を入力し、**決定** にタッチする
パスワードの設定が完了します。

- 7 視聴制限をかけたい“メディア”にタッチする



- 8 “パスワード”を入力し、**決定** にタッチする
さきほど設定した4桁のパスワードを入力します。
- 9 視聴制限レベルを入力し、**決定** にタッチする

▼
視聴制限レベルの設定が完了します

アドバイス

- 手順4の[パスワード設定]は、パスワードの設定が完了すると、[パスワード変更]となりパスワードを変更することができます。
→ 「パスワードを変更する」(P75)

■ 視聴制限のレベルについて

BDMV の場合

入力した値は視聴可能年齢となります。

0 ~ 254	設定した視聴可能年齢を超えたディスクやシーンはご覧になることができません。
255	工場出荷時の値です。「制限なし」となります。

DVD-VIDEO の場合

入力した値はレベルとなります。

1	子供向けのディスクだけが再生できるようになります。
2 ~ 7	成人向けディスクの再生を禁止します。(子供向けや一般向けディスクを再生する)
8	ほとんどのディスクが再生できます。
9	工場出荷時の値です。「制限なし」となります。

■ 視聴制限のレベルを変更する

すでに設定した視聴制限レベルを変更します。

1 停止中、**セットアップ** にタッチする

2 **▼ ページ ▲** にタッチし、“2/4 ページ” を表示する

3 **視聴制限** にタッチする

4 変更したい“メディア”にタッチする



5 設定済みの“パスワード”を入力し、**決定** にタッチする

6 “視聴制限レベル”を入力し、**決定** にタッチする



▼
視聴制限レベルの変更が完了します。

■ パスワードを変更する

設定済みのパスワードを変更することができます。

- 1 停止中、**セットアップ** にタッチする
- 2 **▽ ページ ▲** にタッチし、“2/4 ページ” を表示する
- 3 **視聴制限** にタッチする
- 4 **パスワード変更** にタッチする
- 5 “現在のパスワード” を入力し、**決定** にタッチする
- 6 “新しいパスワード” を入力し、**決定** にタッチする
- 7 確認のため再度 “パスワード” を入力し、**決定** にタッチする

▼
パスワードの変更が完了します。

■ パスワードを消去する

パスワードを消去するには、本機のセットアップ情報を初期化する必要があります。パスワードを忘れたときなどは、本機のセットアップ情報を初期化してください。
→「セットアップ情報を初期化する」(P71)

SD カードをフォーマットする

本機に挿入されている SD カードをフォーマットします。

注意

- SD カード故障の原因となりますのでフォーマット中は、イグニッションキーの“ACC”を“OFF”にしないでください。
- フォーマット中に SD カードを本機から抜かないでください。

お知らせ

- SD カードをフォーマットするにはあらかじめ SD カードが選択状態になっている必要があります。
→「ディスクと SD カードを切り換える」(P14)

- 1 停止中、**セットアップ** にタッチする
 - 2 **▽ ページ ▲** にタッチし、“4/4 ページ” を表示する
 - 3 **SD カードフォーマット** にタッチする
-
- 4 **はい** にタッチする

▼
SD カードのフォーマットが完了します。


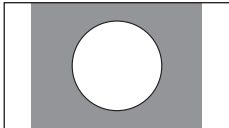
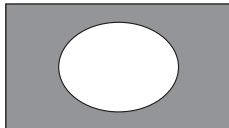
■ 1/4 ページ



設定名	設定内容
メニュー言語	BDMV や DVD-VIDEO などのディスクに記録されているメニューについて、優先して表示させたい言語が設定できます。(工場出荷時は、【日本語】) →「優先させる言語を変更する」(P71)
音声言語	BDMV や DVD-VIDEO などのディスクに記録されている音声について、優先して表示させたい言語が設定できます。(工場出荷時は、【日本語】) →「優先させる言語を変更する」(P71)
字幕言語	BDMV や DVD-VIDEO などのディスクに記録されている字幕について、優先して表示させたい言語が設定できます。(工場出荷時は、【日本語】) →「優先させる言語を変更する」(P71)

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。



設定名	設定値	設定内容
視聴制限		BDMV および DVD-VIDEO の視聴制限を設定することができます。 →「視聴制限のレベルを設定する」(P73)
音声圧縮	オート	自動でダイナミックレンジ圧縮のオン/オフを行います。
	オン	ダイナミックレンジ圧縮を利用します。
	オフ	ダイナミックレンジ圧縮を利用しません。
アングルマーク表示	オン	BDMV や DVD-VIDEO、DVD-AUDIO が対象で、「オン」を選択すると、複数のアングルが収録されている場面を再生しているときに  (アングルマーク) を表示させることができます。
	オフ	
映像表示	シュリンク	「シュリンク」を選択すると、ディスクに記録された画面比率で表示します。 「ノーマル」を選択すると、左右いっぱい引き伸ばされて表示します。
	ノーマル	 シュリンク  ノーマル

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

ダイナミックレンジ圧縮とは

BDMV や DVD-VIDEO 再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御 (ダイナミックレンジコントロール) し、小さな音でも聴きやすくする機能です。音声圧縮の効果が得られるのは、Dolby Digital(Dolby AC-3)/TureHD(DolbyLossless) 音声出力のみです。



設定名	設定値	設定内容
BD-J 簡易再生	オン	BDMV の簡易続き再生を行います。簡易続き再生中は、▶ (簡易再生中マーク) を表示します。
	オフ	BDMV の簡易続き再生を行いません。
スライドショー間隔	1 ～ 60 秒間	静止画ファイルのスライドショーが対象で、次のファイル表示までの間隔を 1 ～ 60 秒間に設定することができます。(工場出荷時は、5 秒間)
スキャン間隔	1 ～ 60 秒間	DVD-AUDIO や音楽 CD、音楽ファイルのスキャン再生が対象で、次のトラック再生までの間隔を 1 ～ 60 秒間に設定することができます。(工場出荷時は、10 秒間)
スチルモード	オート	一時停止したときの映像のコマ数をディスク内の映像に合わせて自動的に選びます。
	フィールド	一時停止したときの映像のコマ数を 60 回 / 秒に刻んで表示します。静止画やコマ送りが点滅することなくきれいに見えます。
	フレーム	一時停止したときの映像のコマ数を 30 回 / 秒に刻んで表示します。静止画やコマ送りが点滅する場合や流れて見える場合があります。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

BD-J 簡易続き再生とは

BDMV によっては続き再生 (レジューム再生) ができない場合があります。その場合は、上表の [BD-J 簡易再生] を「オン」にすることで続き再生が可能となります。但し、ポップアップメニュー表示などの一部操作ができなくなります。また、BDMV によっては本機能をオンにしても簡易続き再生ができない場合があります。



設定名	設定値	設定内容
混在ディスク優先 1	DVD-Audio	DVD-AUDIO と DVD-VIDEO が 1 枚のディスクに記録されている混在ディスクの場合、どちらを優先して再生するかを設定できます。
	DVD-Video	
混在ディスク優先 2	ファイル	音楽ファイルや静止画ファイルと音楽 CD が 1 枚のディスクに記録されている混在ディスクの場合、どちらを優先して再生するかを設定できます。
	CD	
音声出力	2ch-DownMix	音声出力を切り換えます。 この設定内容を変更した場合には、次の電源 ON 時に有効となります。 当社製カーナビゲーション「NR-MZ50」などに接続する場合は「2ch-DownMix」にしてください。 「Bitstream」に対応した当社製車載用機器はありません。 (2011 年 11 月現在)
	Bitstream	
SD カードフォーマット	本機に挿入されている SD カードをフォーマットします。 →「SD カードをフォーマットする」(P75)	
セットアップ情報初期化	セットアップで設定した各項目を工場出荷時の状態に戻します。 →「セットアップ情報を初期化する」(P71)	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

取り付けと接続

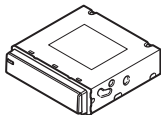
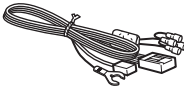



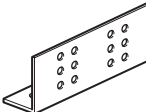
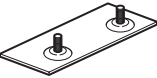

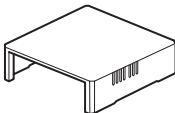

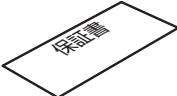
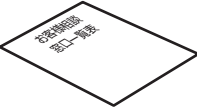

接続のしかた

本機の接続のしかたを説明します。

お知らせ

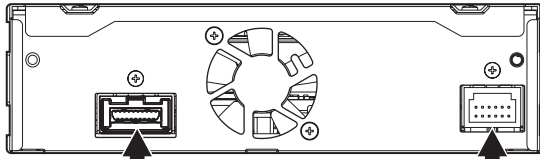
- 本機は、当社製カーナビゲーションシステム「NR-MZ50」との接続によってのみ、再生や停止などの操作が可能となります。(2011年11月現在)
また、リモコンは付属していません。

■ 構成部品

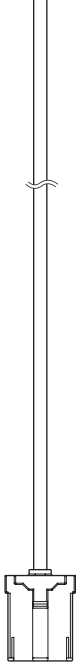
本体 	電源ケーブル 	HDMI ケーブル 	ボルト (M5 × 8)  × 4
六角ナット (M6 × 4)  × 4	L 型金具  × 2	取付ベース  × 2	両面接着テープ  × 2
パネルカバー 	取扱説明書 (本書) 	保証書 	お客様相談窓口一覧表 
OSS 請求専用はがき 			

接続図

本体

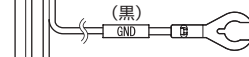


HDMI
ケーブル

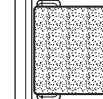


●ナビゲーションシステムへ
(NR-MZ50など)

電源ケーブル



●アース
オーディオブラケットの取り付けネジ部に
共締めしてください。



●バッテリー
イグニッションキースイッチをOFFにしても
⊕電源の切れないところへ接続します。



●アクセサリー
イグニッションキースイッチをACC(アクセサリー)
ポジションにすると電源が入るところへ接続します。
(エンジンスイッチのON/OFFに関係なく
常時バッテリーから電源が供給される回路には
接続しないでください。接続すると車のバッテリー
消耗の原因となります。)



●他の機器の接続時に使用します。

●IE-BUS



取り付けと接続



注意

●アクセサリー(赤)とバッテリー(黄)の電源リード線は必ず指定の場所に接続し同じところへまとめて接続しないでください。

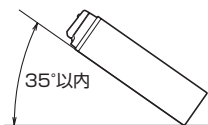
取り付けかた

本機の取り付けかたを説明します。

アドバイス

- ご自分で取り付けが困難な場合は、販売店にご相談ください。

取り付け角度について



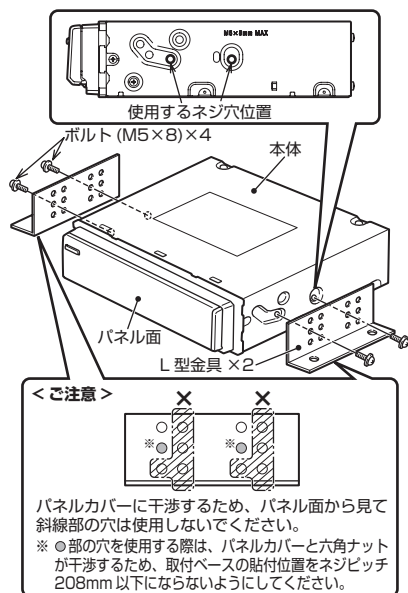
本機は水平～35°の範囲内で取り付けてください。取り付け角度が35°以上になると、音飛びの原因となります。

シート下などに取り付ける場合

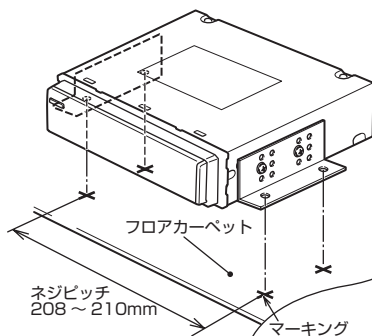
注意

- メディアを挿入、取り出しできるように位置決めしてください。
- エアコンダクトからの温風があたらない場所に位置決めしてください。
- コネクター側の排気ファンの通風孔をふさがないでください。

1 本体に取付ブラケットをボルト (M5 × 8) で固定する



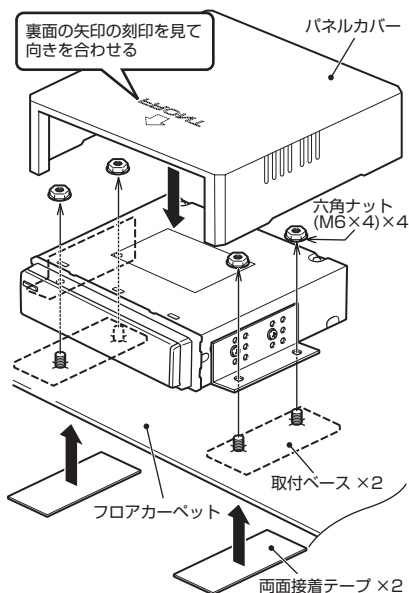
2 フロアカーペットに、ペンなどでマーキングする



3 マーキングしたところを、カッターナイフなどで十字に切り込みを入れる

4 取付ベースに両面接着テープを貼り付ける

5 取付ベースのネジ部を切り込みに通し、L型金具の穴を通して、六角ナット (M6 × 4) で本体を固定する 最後に、パネルカバーをかぶせる



センターコンソールに取り付ける場合

DIN サイズ採用車に取り付ける場合を説明します。

お知らせ

- DIN サイズ採用車とは、オーディオスペースに通称セット幅 180mm ×高さ 50mm サイズが搭載できる車です。

アドバイス

- 日産車、ホンダ車、三菱車の各メーカーは、標準取り付けキット（別売）が準備されていますので別途販売店にご相談ください。
- 年式、車種、グレードにより、専用取り付けキット（別売）が必要な場合がありますので販売店にご相談の上、お買い求めください。

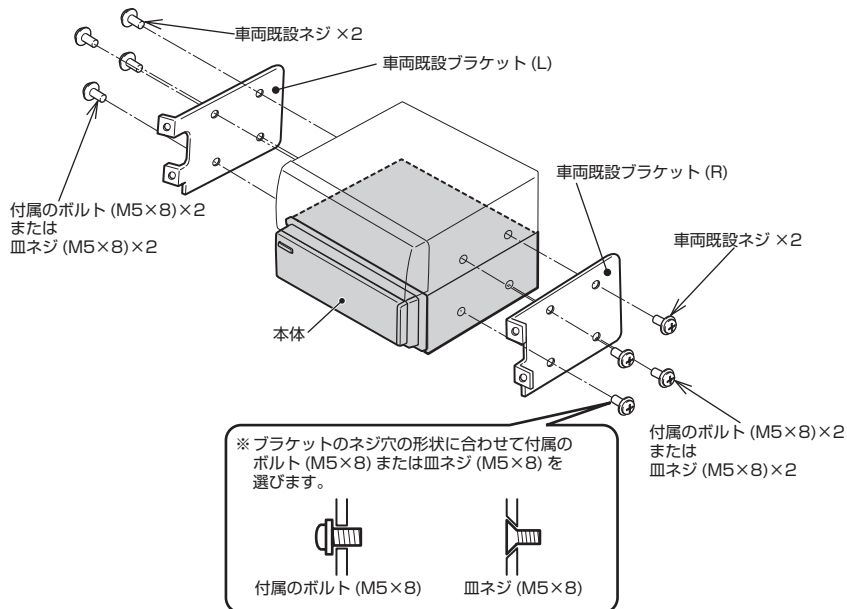
1 車両側のラジオ、小物入れなどを取り外す

取り外すとラジオ、小物入れなどを止めているブラケットがあります。そのブラケットを使用して本機を取り付けます。

2 車両のブラケットを使用して本機を取り付ける

本機は、上段または下段のどちらにも取り付けできます。

< トヨタ車の場合 >



その他

故障かな？と思ったら

下記に示します処理を行っても症状が直らないときは、配線や本体に異常が発生している可能性があります。お買い上げ店またはお客様相談窓口にご相談ください。

症状	原因	処置
電源が入らない。動作しない。	接続コードが外れている。	各リード線のギボシ端子の接続を確認してください。
ディスクが入らない。	すでにディスクが挿入されている。	ディスクを取り出してください。 →「ディスクを取り出す」(P20)
	ディスクが入っていないのにローディング状態になっている。	一度イジェクトボタンを押してください。 →「ディスクを取り出す」(P20)
音が飛ぶ。	取り付け角度が35度以上になっている。	取り付け角度を確認してください。 →「取り付け角度について」(P82)
同じ箇所でも音が飛ぶ。	ディスクに傷、汚れなどがついている。	ディスクをお確かめください。
ディスクを入れても音がでない。	ディスクの傷、汚れなどのためデータが読み込めない。	ディスクをお確かめください。なお、CD-R/RW をご使用の場合はディスクの特性により再生できない場合があります。
BDMV のボーナスビューが再生できない。	SD カードが使用できない状態にある。	SD カードが挿入されているかご確認ください。
		SD カードがライトプロテクトされていないかご確認ください。
		SD カードの空き容量が十分かご確認ください。

■ エラーメッセージ

表示内容	原因	処置
再生できません。 ディスクをご確認ください。	8cm ディスクを挿入している。または、異形ディスクを挿入している。	8cmCD は認識できません。12cm ディスクを挿入してください。
	再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクを挿入してください。 →「再生できるディスクの種類」(P18)
	PAL 方式で記録されたディスクを挿入している。	NTSC 方式で記録されたディスクを挿入してください。
	ディスクを裏面にして挿入している。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再度、挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
	ローディング、イジェクト異常などのなんらかのメカエラー	ディスクに異常がないことを確認して再度挿入してください。それでも問題が解決しない場合は、販売店にご相談ください。

表示内容	原因	処置
再生できません。 メディアをご確認ください。	SD カードの読み込みに失敗した。	SD カードをゆっくり確実に挿入しなおしてください。
	本機に対応していない SD カードを挿入した。	本機に対応している SD カードを挿入してください。 →「SD カードについて」(P21)
高温のため再生できません。 しばらくお待ちください。	本機の内部温度が高い。	メディアを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
再生できません。	再生できるファイルがメディア内に記録されていない。	再生できる音楽ファイルの有無を確認してください。 →「音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) について」(P24)
		再生できる静止画ファイルの有無を確認してください。 →「対応する画像形式について」(P66)
		著作権保護付きのファイルは再生できません。著作権保護が付いていないものにしてください。
	音楽ファイルまたは静止画が破損している。	正しい音楽ファイルまたは静止画を入れてください。
	何らかの原因でドライブに異常が発生した。	メディアに異常がないことを確認して再度挿入してください。それでも問題が解決しない場合は、販売店にご相談ください。
車のバッテリー電圧が低くなっている。	バッテリーを確認してください。	
ディスクの排出に失敗しました。	異物が排出口を塞いでいる。	排出口を塞いでいる、または引っかかっている異物を取り除き、再度排出を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、販売店にご相談ください。
	異物が排出口に引っかかっている。	
リージョンコードが違います。 ディスクをご確認ください。	本機のリージョンコード / 番号と異なる Blu-ray™ または DVD を挿入した。	リージョンコード [A] を含む Blu-ray™ または、リージョン番号 [2] を含む DVD ビデオ以外のディスクは再生できません。
メディア切換に失敗しました。	exFAT 形式でフォーマットした SDXC カードを挿入した。	exFAT 形式でフォーマットした SDXC カードは本機非対応です。本機に対応している SD カードを挿入してください。 →「SD カードについて」(P21)
	読み込み不可のディスクや SD カードを挿入し、メディア切り換えを行った。	ディスクや SD カードに傷や破損がないかを確認してください。
このメディアは再生できません。	暗号解除に失敗し、認証エラーが起こった。	違法にコピーされたディスクの可能性があります。
	読み取り不良などの異常が起こった。	ディスクに傷や破損がないかを確認してください。
再生に失敗しました。	ディスクや SD カードに傷や汚れがあり再生できない。	メディアに傷や汚れがないか確認してください。傷や汚れがなく問題が解決しない場合は、販売店にご相談ください。
再生が停止しました。 音声出力は一時的にミュート状態になっています。	違法にコピーしたコンテンツを再生した可能性がある。	コンテンツをご確認ください。

用語解説

本書で使用している専門的な用語について説明します。

ダウンミックス (→ P30,39)

7.1ch/5.1ch などのマルチチャンネルで収録された音声を 2ch で出力する技術。

ボーナスグループ (→ P47)

DVD-AUDIO に収録された隠しトラックで、パスワードを入力しなければ再生することができません。

AVCHD (→ P39)

デジタルハイビジョン映像を DVD や SD カードなどのメディアに記録することができるハイビジョン動画記録の規格。

但し、本機では 8cm ディスクがご使用になれませんので、本機でご使用になる場合は、当社製ブルーレイディスクレコーダー「DVR-BZ450/350/250」などで 8cm DVD から 12cm DVD にダビングしたものをご使用ください。

また、SD カードで記録した AVCHD は本機で再生できません。

AVCREC (→ P39)

デジタルハイビジョン画質で映像を記録する技術で、Blu-ray™ で採用されている規格の「BD-RE」を利用して記録を行います。BD-R や BD-RE などの記録型 Blu-ray™ および DVD-R や DVD-RW などの記録型 DVD などに、高画質の映像を記録することが可能となります。

BD-RE (→ P30)

「Blu-ray Disc™ Audio/Visual」の略で、BD-R や BD-RE などの記録型 Blu-ray™ で利用されている規格の一種。

BD-J

「Blu-ray Disc™ Java」の略で、Blu-ray™ (BDMV) の特典などにある対話型コンテンツで用いられる基本となる仕組み。

PinP(ピクチャー・イン・ピクチャー)などの「BONUSVIEW™」機能が使用可能となります。

BDMV (→ P30)

「Blu-ray Disc™ Movie」の略。映像記録用に用いる Blu-ray™ の標準的な読み出し専用で用いられる規格。

同義語として、映画などの市販 Blu-ray™ ソフトを「BD-VIDEO」と呼ぶことがあります。

BD-R (→ P12,18)

一度だけ書き込みができるメディアで、Blu-ray Disc™ Recordable の規格にあわせて作られた Blu-ray Disc™。地上デジタル TV 放送が BDAV 形式で記録できます。

BD-RE (→ P12,18)

読み書き可能なメディアで、Blu-ray Disc™ Rewritable の規格にあわせて作られた Blu-ray Disc™。地上デジタル TV 放送が BDAV 形式で記録できます。

BD-R-LTH (→ P18)

DVD-R と同じ有機系色素を使った BD-R。一般的には、無機系色素が使われているため、Blu-ray™ プレーヤー側の対応確認が必要です。(本機は対応しております。)

BD-VIDEO (→ P30)

映像記録用に用いる Blu-ray™ の標準的な規格で、映画などの市販 Blu-ray™ ソフトが「BD-VIDEO」にあたります。同義語として、読み出し専用の規格として「BDMV」と呼ぶことがあります。

CD-DA (→ P59)

「Compact Disc Digital Audio」の略で、音楽用 CD の規格。

DVD-AUDIO(→ P39)

音楽用 CD のように音声データを DVD に記録する規格。

CD に比べて 7 倍近くの容量を持つ DVD の特長を活かして、5.1ch のようなマルチチャンネルの記録や長時間の記録に利用されます。

DVD-VIDEO(→ P39)

映像記録用に用いる DVD の標準的な規格で、映画などの市販 DVD ソフトが「DVD-VIDEO」にあたります。

DVD-VR(→ P12, 18)

「DVD Video Recording Format」の略で、記録型 DVD のための規格の 1 つ。「VR モード」と呼ばれることもあります。

JPEG(→ P66)

「Joint Photographic Experts Group」の略で、デジタルカメラやホームページでよく用いられる静止画像のデジタルデータを圧縮する技術。

この技術を用いたファイルの拡張子は「.jpg」や「.jpeg」となります。

PBC(→ P52)

「Play Back Control」の略で、VIDEO CD の Ver.2.0 以降で使用可能な機能の 1 つ。メニューなどを使って見たい場面を即座に探すことができる機能です。

VIDEO CD(→ P52)

CD に動画を記録する技術。

保証とアフターサービス

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入 < 販売店印 > < お買い上げ日 > および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、保証書に記載している期間に基づきます。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は ▶	保証書の記載内容に基づいて修理いたします。 詳しくは保証書をご覧ください。
-------------	--

保証期間経過後の修理は ▶	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償修理いたします。
---------------	---

- 当社は本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 6 年間保有しています。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについて不明な点は、お買い上げ店が弊社代理店、「お客様相談窓口一覧表」に記載されている最寄りのお店もしくは下記三菱カーインフォメーションセンターにお申しつけください。

お問い合わせ先 三菱カーインフォメーションセンター
フリーダイヤル **0120-182-710**
(土・日・祝日・弊社の休日は除く / 9:00 ~ 17:30)

仕様

オーディオ		
プレーヤー部	対応メディア	BD-ROM(1層/2層)、BD-R(1層/2層)、BD-RE(1層/2層)、BD-R-LTH(1層)、DVD-ROM(1層/2層)、DVD-R ^{*1} (1層/2層)、DVD+R ^{*1} (1層/2層)、DVD-RW(1層)、DVD+RW(1層)、CD-ROM、CD-R/RW(1層) *1 VR/CPRM フォーマット対応。
	対応フォーマット	BDMV(Profile1.1)、BD-DAV、DVD-VIDEO、DVD-ROM ^{*2} 、AVCREC、AVCHD、DVD-VR、DVD-AUDIO、CD-DA、CD-TEXT、CD-ROM ^{*2} *2 MP3、WMA、AAC、JPEG フォーマット対応
SD カード部	対応容量	最大 32GB(SD/SDHC 規格対応)
	対応フォーマット	MP3、WMA、AAC、JPEG
接続端子		
HDMI 出力	HDMI 端子	19ピン TypeE
	映像解像度	480p 固定
	音声	ダウンミックス2チャンネル
電源・寸法・質量		
使用電源	DC13.2V(マイナスアース)	
最大消費電流	MAX2.5A	
動作温度	-10℃～+55℃	
外形寸法	約 幅 180 ×高さ 50 ×奥行 188mm	
質量	約 1.6kg	

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。



〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 (東京ビル)